

LEDVisole

取扱説明書

地上デジタルハイビジョン
32型 液晶テレビ

品番

LCH3209G



HDMI™

このたびはVisole液晶テレビをお買い上げいただきまして、
まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保管してください。

もくじ

はじめに

安全上のご注意	3
使用上のご注意とお願い	6
主な特長	7

準備

付属品を確認する	8
各部の名称（本体）	9
本体前面	9
本体背面	10
本体左側面および背面端子部	10
各部の名称（リモコン）	11
スタンドの取り付け	13
リモコンの準備と使い方	14
アンテナを接続する	15
VHF/UHF アンテナ線のつなぎかた	15
miniB-CAS カードを入れる	16
miniB-CAS カードを入れる	16
電源を入れる	17
電源を入れる	17
チャンネル設定をする	18
かんたん設定	18

基本の操作

テレビを見る	19
番組表を見る	20
視聴予約を設定する	20
視聴予約を取り消す	20
番組表を見る	21
番組表のメニュー	21
デジタル放送の便利な機能を使う	22
字幕を表示する	22
チャンネル情報を見る／音声を切り換える	23
チャンネル情報を見る	23
番組情報を見る	23
音声を切り換える	23
データ放送を見る	24
連動データ放送を楽しむ	24
画面サイズを変える	25
録画・予約をする	26
録画機能について	26
見ている番組を録画する	27
番組表から録画予約する	27
録画する日時を指定して録画予約する	27
録画を中止する	28
予約の確認・取消しをする	28
録画予約に関するお知らせ	29
録画した番組を再生する	30
録画番組を再生する	30
録画した番組を保護する	32
録画した番組をリピート再生する	32
録画した番組を削除する	32

外部機器との接続

録画機の準備をする	33
USB ハードディスクを接続する	33
USB ハードディスクを登録する	33
再生機器を接続する	36
HDMI 端子を使う場合	36
映像端子を使う場合	37
外部機器を接続する	38
パソコンを接続する	38
アンテナの方向調整と設定	39
地上デジタルアンテナレベル	39
接続した機器の映像を見る（入力切換）	40

調整と設定

メニュー画面の操作方法	41
映像設定メニュー	42
音声設定メニュー	43
機能設定メニュー	44
画面サイズ切換	44
省エネ設定	44
ネット設定	45
ハードディスク	47
各種設定メニュー	48
かんたん設定	48
個人情報	48
機器設定	51
B-CAS カード情報	54
工場出荷時リセット	54

その他

地域別チャンネル表	55
故障かな？と思ったら	57
まず確認してください	57
こんな場合は故障ではありません	57
全般	57
映像	58
音声	59
デジタル放送	59
エラーメッセージ一覧	60
デジタル放送	60
録画予約	62
壁掛けでご使用になるとき	63
スタンドのはずしかた	63
主な仕様	64
保証書とアフターサービス	66
ソフトウェアのライセンス情報	67
ソフトウェアコンポーネントに関する	
エンドユーザーライセンス	
アグリーメント原文（英文）	68



安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、安全にお使いください。










「取扱説明書」をお読みになったあとはいつでも見られるところに必ず保存してください。

本機は安全を十分に配慮して設計されています。しかし、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。

本機および付属品をご使用になるときは事故を防ぐために、次の注意事項をよくご理解の上、必ずお守りください。

 警告	この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注意	この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。

絵表示について

 絶対に行わない	 絶対に触れない	 絶対にぬれた手で触れない
 絶対に分解や修理はしない	 絶対に浴室やシャワー室では使用しない	 絶対に水にぬらさない
 必ず電源プラグをコンセントから抜く	 必ず指示に従う	 高圧注意 (テレビ背面に表示)

家庭用品品質表示法による表示 ご使用上の注意

- 1 内部の温度が上昇しますので通風孔の周囲に適切な間隔をおいてください。
- 2 温度の高い場所や湿気の多い場所は避けてください。
- 3 内部には高電圧部分があり、感電の原因となりますので、お客様による修理は絶対にしないでください。
- 4 ちり、ほこりを取るためテレビの内部を掃除するときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

警告

電源コードやプラグの損傷による火災・感電を防ぐため、次のことをお守りください

- 電源コードやプラグを傷つけたり、破損させたり、加工しないでください。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っばったり、加熱したりしないでください。
- 重いものをのせたり、電源コードがテレビの下敷きになったりしないようにしてください。

- 電源コードの表面のビニールが溶けるのを防ぐため熱器具に近づけないでください。
- 電源コードを抜くときは、コードを引っばらずに必ずプラグを持って抜いてください。



安全上のご注意

はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続

調整と設定

その他

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。
キャビネットを開けないでください。
内部には高電圧部分があるため、感電の原因となります。
お客様による修理は絶対にしないでください。
内部の点検、調整、修理は、お買い上げ店にご相談ください。



高圧注意



分解禁止

内部に異物や水分を入れない

金属類や燃えやすいもの、水分などが内部に入ると、感電や火災の原因となります。

特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 通風孔から金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- 本機の上に水の入った容器や植木鉢、小さな金属類(安全ピンやヘアピンなど)を置かないでください。
- 水がかかるような場所では使用しないでください。



水場での
使用禁止



絶対に水に
ぬらさない

雷が鳴りだしたらプラグに触れない

感電の原因となります。



接触禁止

交流 100 ボルト以外では使用しない

本機は国内専用です。

電源プラグを交流 100 ボルト (AC100V) の家庭用電源コンセント以外にはつながないでください。異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台や傾いた台などに置くと、落下によるけがや物損事故の原因となることがあります。

設置場所や取り付けには気を付けて、水平で安定した場所に設置してください。

また、台などにのせて設置する場合は転倒防止の処置をしてください。



禁止

異常時の処置

故障のまま使い続けると、火災や感電、けがの原因となります。

次のような症状が見つかったら

- 異常な音や臭いがする、煙が出ている。
- 内部に水や異物が入った。
- 本機を落とした、本機の一部を破損した。
- 正常に動作しない。(画面が映らない、音が出ない)
- 電源コードやプラグに傷がある。

ただちに、電源スイッチを切って、電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店または、ユニテクサービスセンター(裏表紙に記載)に修理をご依頼ください。

電源プラグをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。

⚠️ 注意

通風孔をふさがない

通風孔（放熱のための穴）をふさがないでください。内部に熱がこもり**発火やけが、感電の原因**となることがあります。

- 密閉したラックの中に入れてください。
- じゅうたんや布団のような柔らかいものの上に置かないでください。
- 布団や毛布、布をかけないでください。
- 暖房器具のそばや直射日光が当たる場所など高温になるところに置かないでください。
- 本機の設置は周囲から 10cm 以上の間隔を開けてください。



禁止

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たる場所に置かない

火災や感電の原因となることがあります。



禁止

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

倒れたり、こわれたりして、**けがの原因**となることがあります。特に小さなお子様には気を付けてあげてください。



禁止

水平で安定した所に置く

倒れたり、壊れたり、けがの原因となることがあります。



指示

安全のため電源プラグを抜く

次の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。**思わぬ火災や感電の事故から防ぎます。**

- 旅行などでしばらく使わない場合
- お手入れをする場合
- 本機を移動させる場合（この場合は、接続コードなどもはずしてください。）



プラグをコンセントから抜け

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

ときどきは電源コンセントやプラグの点検を

長い間コンセントにプラグを差し込んだままにしておくと、ほこりがたまり、湿気が加わることで漏えい電流が流れ、**火災の原因**となることがあります。電源プラグがはずれかけていたり、破損したりしている場合は、特に危険です。



指示

思わぬ事故を防ぐために

- コンセントの周りにほこりをためないようときどき掃除をする。
- 電源プラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。
- コンセントやプラグに異常がないか確かめる。



指示

液晶パネルを強く押ししたり、強い衝撃を与えたりしない

液晶パネルのガラスが割れて**けがの原因**となることがあります。

液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症などの原因となることがあります。

万一口に入った場合は、すぐうがいをし医師にご相談ください。また、目に入ったたり皮膚に付着した場合は、清浄な水で最低 15 分以上洗浄した後、医師にご相談ください。



指示

乾電池の取り扱いについて

乾電池の使い方を誤りますと、液漏れや発熱、破裂する恐れがありますので次のことをお守りください。

- 十の指示通りに入れる。
使い切った電池はすぐに取り出す。種類の違う電池、または新しい電池と古い電池を混ぜて使わない。
- しばらく使わないときは取り出しておく。
電池の充電、ショート、分解、火への投入、過熱などしない。液漏れが有った場合は、その液に触れない。



指示



禁止

使用上のご注意とお願い

◆ 輝点・欠点について

液晶パネルには、画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは故障ではありません。

◆ お手入れについて

お手入れの際は、必ず本機及び接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

柔らかい布で軽く乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取った後は乾拭きしてください。

- キャビネットの変質・破損・塗料はがれの恐れがありますので、次のことをお守りください。
 - ベンジンやシンナーは使わないでください。また、化学ぞうきんの使用は、注意書きに従ってください。
 - 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長期間接触させないでください。
- 液晶パネルの表面は、薄いガラス板の上にコーティング加工が施されています。パネル保護のため、次のことをお守りください。
 - パネルに硬いものやとがったものを当てたり、強く押したりこすったりしないでください。傷付き・変色の原因となります。
 - パネルの表面に露付きなどによる水滴など液体を付着した状態で使用しないでください。色ムラ・変色の原因となります。
 - パネルの汚れを拭き取るときは、ほこりの付いた布や化学ぞうきんなどを使わないでください。傷付き・変色の原因となります。

もし、異常があるときはすぐにお買い上げ店または、ユニテクサービスセンター（裏表紙に記載）にご相談ください。

◆ 輸送について

本体を横倒しにして輸送した場合、パネルガラスの破損や面欠点の増加のおそれがありますので、横倒しでの輸送はしないでください。

◆ 本機を破棄するとき

本機は家電リサイクル法の対象製品です。一般の廃棄物と一緒にしないでください。

◆ 本機の温度について

本機は、長時間使用したときなどに、パネル表面や上部が熱くなる場合があります。熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、ビデオディスクなどの熱で変形しやすいものを上に置かないでください。

◆ 室内温度について

液晶の特性により、室温が低い場合は、画像がぼやけたり、動きがスムーズに見えなかったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

◆ バックライトについて

液晶パネルはバックライトが発光することにより画像を表示していますが、バックライトには寿命があります。本機のバックライト寿命は約25,000時間です。常温での使用時に画像が暗くなるようになったら、ユニテクサービスセンター（裏表紙に記載）へご相談ください。

◆ デジタル放送のコピー制御について

本機には付属のB-CASカードを必ず挿入してください。

デジタルテレビ放送では、コピー制御のために、B-CASカードの機能を利用します。

挿入されないと、すべてのデジタルテレビ放送が映らなくなります。

B-CASカードを挿入していただくことで、NHKも、無料民放も、これまでどおり番組をお楽しみいただけます。

デジタル放送は、鮮明で迫力あるハイビジョンなど高画質の放送がご覧になれ、また高画質のまま録画できることが特徴のひとつです。ただし、著作権への配慮が必要です。録画した番組を個人で楽しむ限りは問題ありませんが、録画した番組を許可なくダビングして他人に配ることは法律に違反します。また不正にダビングしたソフトが出回ることになれば、番組の制作者や出演者などの権利が著しく侵害され、良質な番組の提供に支障をきたすこととなります。そこで地上デジタルテレビ放送局では、電波にコピー制御信号を加えて放送しています。コピー制御により、著作権を保護し、魅力ある番組が制作されます。（ただし、コピー制御信号の実際の運用は、個々の放送局が判断します）

詳細は録画機器の取扱説明書やカタログなどをご覧ください。

コピー制御のしくみに関する一般的な内容については下記ホームページをご覧ください。

社団法人デジタル放送推進協会

<http://www.dpa.or.jp/>

主な特長

◆ オンスクリーン表示


画面を見ながら映像調整、音声調整などを設定できます。

◆ 映像／音声調整

お好みの映像と音声を選ぶことができます。画面の「コントラスト」、「明るさ」、「色の濃さ」、「色あい」、「シャープネス」をお好みの映像に調整して記憶させることができます。音声も「低音」、「高音」、「バランス」をお好みの音声に調整することができます。

◆ オフタイマー

おやすみ前にタイマーをセットしておくで、自動的に電源を消すことができます。(30・60・90・120分)

リモコンの  で操作できます。(19 ページ参照)


◆ HDMI 端子

HDMI 対応のブルーレイ DVD プレーヤーや HDD レコーダーなどの AV 機器と接続して高品質な映像を楽しむことができます。(接続コードは付属していません。)

◆ 画面サイズの切換

映像に合わせて画面サイズを「ワイド」、「ノーマル」、「HD スーパーライブ」に切り換えることができます。

EWS (緊急警報放送) について

地上デジタル放送の視聴中に EWS (緊急警報放送) を受信すると、画面に「緊急警報放送を受信しました」と表示されます。このとき決定ボタンを押すと、緊急警報放送が視聴できます。このメッセージはチャンネルを変えても表示されます。表示中のメッセージを消すには  ボタンを押してください。

EWS (緊急警報放送) とは：地震や津波などの災害発生時に、特殊な信号を放送波に割り込ませることによってテレビやラジオなどの受信機から警報音 (ピロピロ音) を出し、災害の発生と災害情報をいち早く知らせるための放送です。

人命や財産に重大な影響を与える以下の 3 つの条件に該当する場合に行われます。

- 1) 大規模地震など災害についての警戒宣言が発令された場合。
- 2) 津波警報が発表された場合。
- 3) 地方自治体の長より、避難命令など放送の要請があった場合。

本製品は、地震や津波などの災害が発生した場合に行われる緊急警報放送の文字スーパー表示に対応しています。緊急警報放送の受信による自動起動には対応しておりません。また、米軍基地周辺の AFN (米軍放送) の緊急告知放送には対応しておりません。

付属品を確認する

ご購入のパッケージ内には、以下のものが含まれています。すべて入っているかご確認ください。

はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続

調整と設定

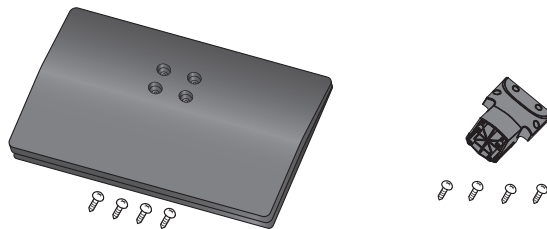
その他

本体



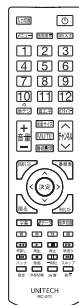
LCH3209G

スタンドベース

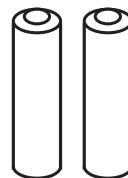


固定用ネジ (8本)

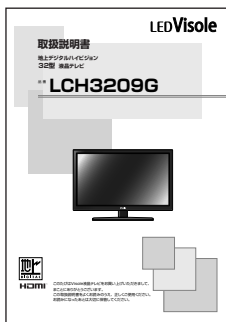
リモコン × 1



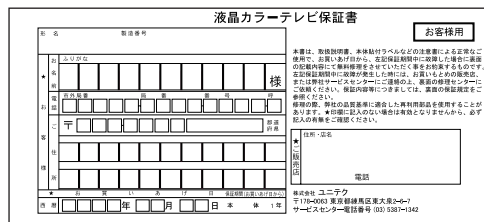
単4形乾電池 (R03) × 2



取扱説明書 × 1



保証書 × 1

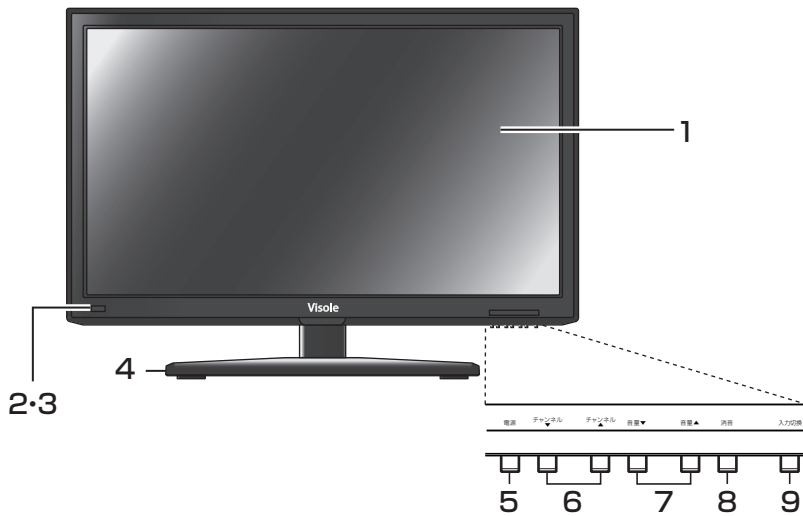


miniB-CAS カード × 1



各部の名称（本体）

本体前面



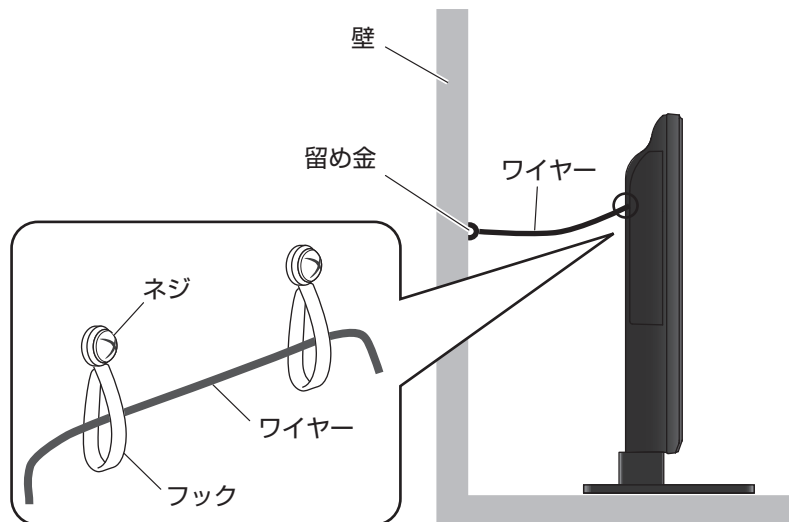
- 1 液晶画面
- 2 リモコン受光部
- 3 電源ランプ
- 4 スタンド
- 5 電源
- 6 チャンネル切替
- 7 音量ボタン
- 8 消音
- 9 入力切替

◆ テレビを固定する

テレビが転倒しないように安全な場所に設置してください。

転倒防止のため壁または柱等を利用して、下記図を参照し固定してください。

ワイヤー、壁への留め金、テレビを固定するためのフックは同梱していないため、お客様ご自身で準備してください。



はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続

調整と設定

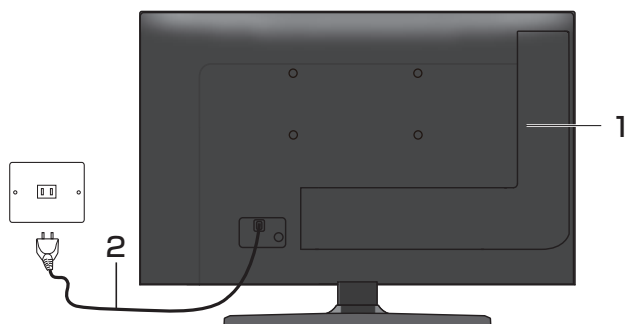
その他

各部の名称（本体）

はじめに

準備

本体背面

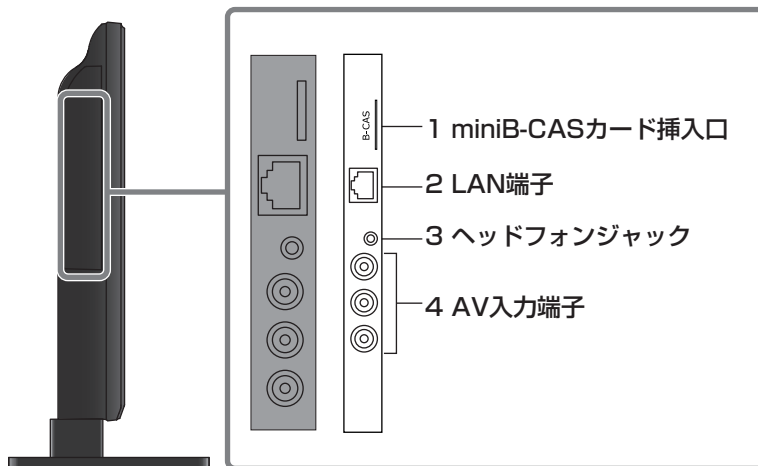


- 1 端子部
- 2 電源コード

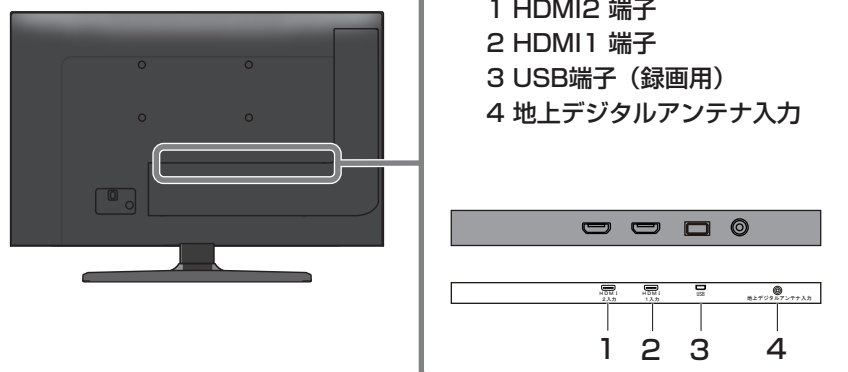
基本の操作

外部機器との接続

本体左側面および背面端子部



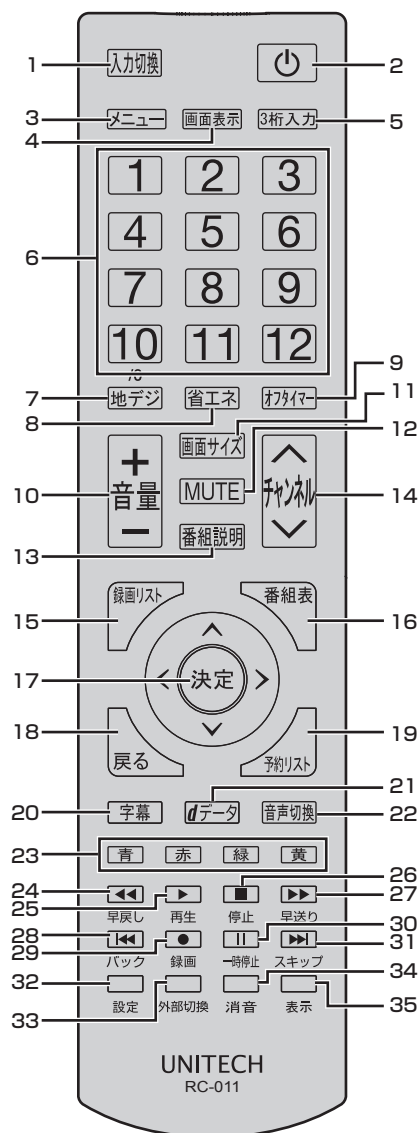
- 1 HDMI2 端子
- 2 HDMI1 端子
- 3 USB端子（録画用）
- 4 地上デジタルアンテナ入力



調整と設定

その他

各部の名称 (リモコン)



- 1 **入力切換ボタン**
入力ソースを切り換えます。入力切換ボタンを押すたびに、入力が切り換わり自動的にその画面が表示されます。
- 2 **電源ボタン**
テレビの電源を入れたり、切ったりします。
- 3 **メニューボタン**
メニュー画面を表示します。
- 4 **画面表示ボタン**
現在受信しているチャンネルの番組情報が表示されます。
- 5 **3桁入力ボタン**
3桁入力で選局します。

- 6 **数字ボタン**
視聴するチャンネルを選択します。また、英数字・記号等の入力に使用します。
- 7 **地デジボタン**
地上デジタル放送に切り換えます。
- 8 **省エネボタン**
消費電力を約5～10%低減することができます。
- 9 **オフタイマー**
オフタイマーの設定ができます。
- 10 **音量+/-ボタン**
音量を大きくしたり、小さくしたりします。
- 11 **画面サイズボタン**
画面サイズを切り換えます。
- 12 **MUTEボタン**
音声を一時的に消します。もう一度押すと消音を解除します。
- 13 **番組説明ボタン**
番組の詳しい説明が表示されます。
- 14 **チャンネルへ/ボタン**
チャンネルを順に切り換えます。
- 15 **録画リストボタン**
録画リストを表示します。
- 16 **番組表ボタン**
番組表をテレビ画面に表示します。(地上アナログ放送以外)
- 17 **決定ボタン**
メニュー画面の選択内容を決定します。
▲▼◀▶ボタン
メニュー画面を表示しているときはカーソルを移動します。
- 18 **戻るボタン**
メニュー画面を表示しているとき、1つ前の画面に戻ります。
- 19 **予約リストボタン**
予約リストの画面を表示します。
- 20 **字幕ボタン**
字幕を切り換えます。

各部の名称（リモコン）

21 d データボタン

データ放送を表示します。

22 音声切換ボタン

2 カ国語／ステレオなど音声を切り換えます。

23 カラーボタン（青、赤、緑、黄）

データ放送を利用する場合に使用します。

24 早戻しボタン

再生中に押すと、早戻し再生をします。

25 再生ボタン

USB ハードディスクに録画した番組を再生します。

26 停止ボタン

USB ハードディスクに録画した番組の再生をいったん停止します。

27 早送りボタン

再生中に押すと、早送り再生をします。

28 バックボタン

録画番組再生時に前のチャプターに戻します。

29 録画ボタン

TV 視聴中に押すと、番組を録画します（USB ハードディスクを接続しているとき）。

30 一時停止ボタン

録画再生中は再生を一時停止します。また、テレビ放映視聴中は映像を静止します。

31 スキップボタン

録画番組再生時に次のチャプターに進みます。

32 設定ボタン

メニューボタンと同じ機能です。

33 外部切換ボタン

入力切換ボタンと同じ機能です。

34 消音ボタン

MUTE ボタンと同じ機能です。

35 表示ボタン

画面表示ボタンと同じ機能です。

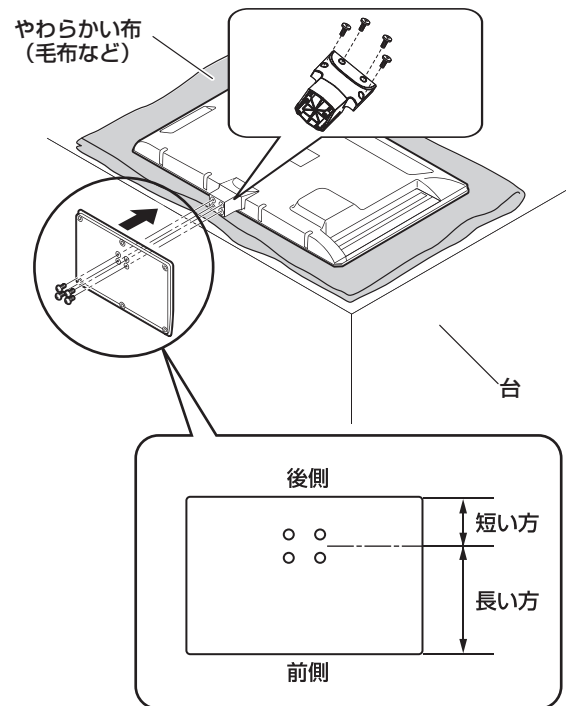
スタンドの取り付け

ご使用前に、スタンドを取り付けてください。
スタンドには前後があります。本体にスタンドを取り付ける際は、右の図を参照し前後を正しく取り付けてください。

- 1 テーブルなどの台の上に毛布などのやわらかい布を敷き、その上に液晶画面を下向きにして本機を置く
- 2 本体の突起部をスタンドベースの穴に差し込み、付属のネジ 4 本で固定する

ご注意

- スタンドの前後を間違えて取り付けると、転倒します。
- 液晶パネルを傷つけないよう取り扱いにご注意ください。



リモコンの準備と使い方

はじめに

準備

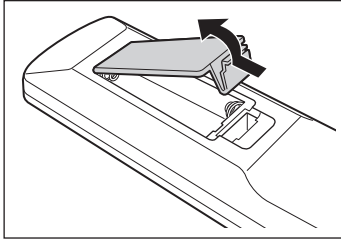
基本の操作

外部機器との接続

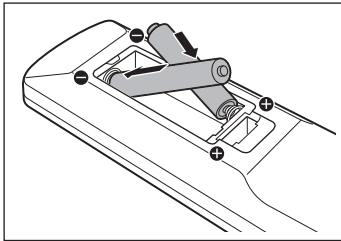
調整と設定

その他

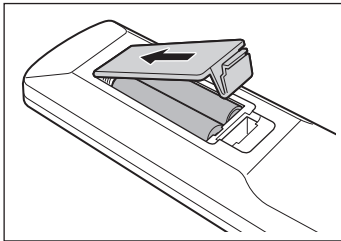
- 1 リモコン裏側の電池ケースカバーを上方向へ引き、カバーをはずす



- 2 乾電池の+、-極の方向に注意して電池ボックスに乾電池を入れる



- 3 電池ケースカバーを元に戻す



ご注意

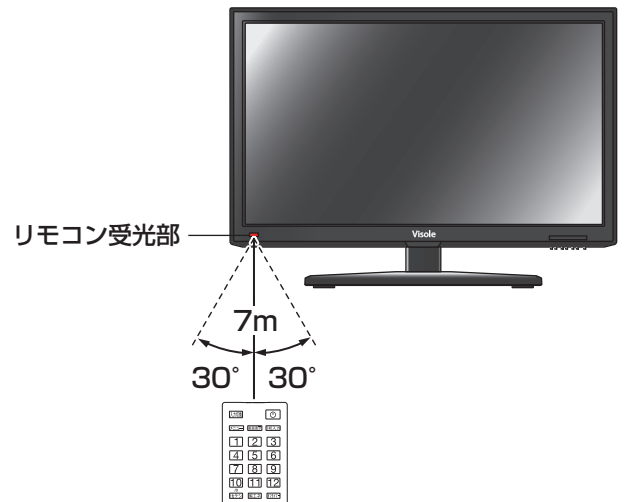
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わないでください。新しい乾電池の寿命が短くなります。古い乾電池から化学液が漏れることがあり、火災やけがの原因になります。
- 乾電池の入れ方が正しくないとリモコンの故障の原因になり、火災につながる恐れがあります。

お願い

- 乾電池は正しい電極の向きで入れてください。
- 乾電池の廃棄は、自治体の条例または規則に従ってください。
- 長時間リモコンを使用しない場合は、乾電池を取りはずし、正しく保管してください。

◆ リモコンで操作できる範囲

本体前面のリモコン受光部の正面から約7メートル、左右30°の範囲でお使いください。



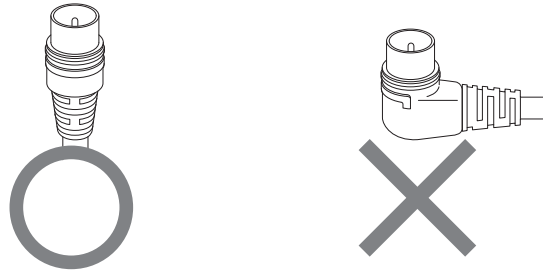
お願い

- 本体とリモコン受光部の間に物を置かないでください。

アンテナを接続する

ご注意

- アンテナを接続するときは、必ず本機およびすべての接続機器の電源プラグを抜いた状態で行ってください。
- アンテナ工事は技術と経験が必要ですので、アンテナの設置や調整については販売店にご相談ください。
- 一部のアンテナプラグの形状は、アンテナ端子への挿入が困難なものがあります。アンテナプラグをご確認ください。

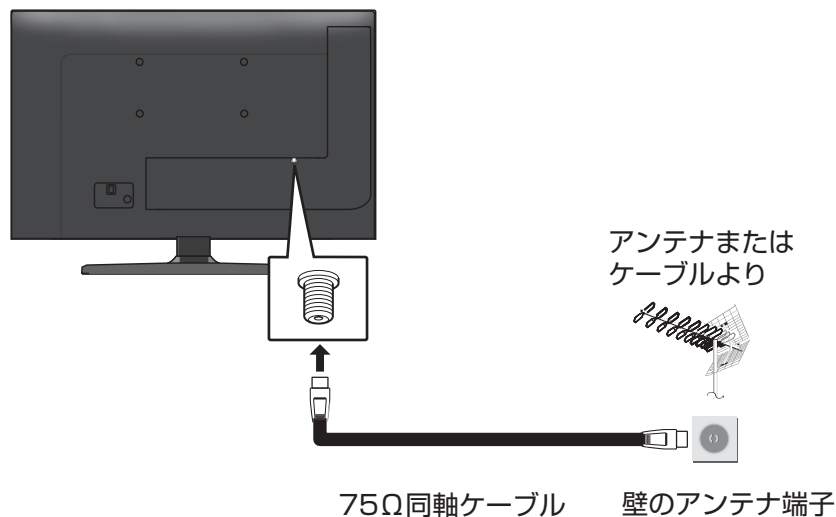


VHF/UHF アンテナ線のつなぎかた

地上デジタル放送は UHF 帯が利用されています。UHF 対応のアンテナを使用してください。VHF アンテナでは受信できません。

現在お使いのアンテナが UHF 対応であっても地域やアンテナ設置状況によっては取り替えや調整、またはブースターの追加などが必要になることがあります。

アンテナや接続に必要なアンテナ線（同軸ケーブル）などは付属しておりません。ご使用のアンテナの種類や使用環境条件に合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。



お知らせ

- 受信信号レベルは天候等の影響により変動いたします。39 ページを参照いただきレベルが 50 以上になるように設定してください。レベルが足りない場合はブースター等で調整してください。
- ケーブルテレビで放送を受信している場合は、契約されているケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

miniB-CAS カードを入れる

はじめに

準備

基本の操作

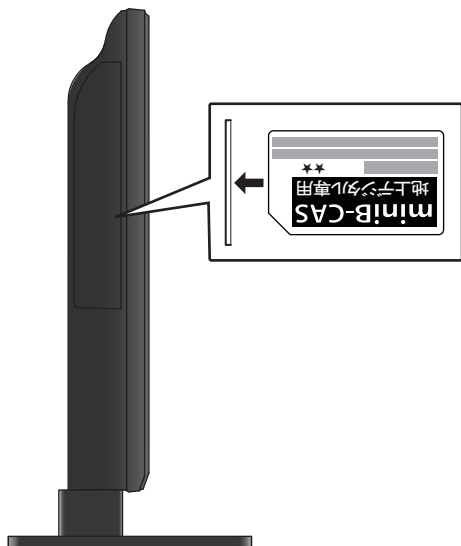
外部機器との接続

調整と設定

その他

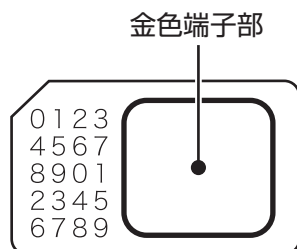
miniB-CAS カードを入れる

デジタル放送を視聴するには、miniB-CAS カードが必要です。常に付属の miniB-CAS カードを本体の miniB-CAS カード挿入口に入れておいてください。



ご注意

- miniB-CAS カードの抜き差しは、本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- miniB-CAS カードには挿入方向があります。イラストに沿った正しい方向で、カチッと音がするまで挿入してください。
- 金色端子部がよごれるとデジタル放送を受信できなくなることがあります。金色端子部に触れないようにご注意ください。



- 乾いたきれいな手で取り扱ってください。
- 金色端子部に指紋がつくなど、よごれてしまった場合は、乾いたきれいな柔らかい布でふき取ってください。

◆ B-CAS カードのお問い合わせについて

B-CAS カードのお問い合わせは、下記にお願いいたします。

株式会社 B-CAS カスタマーセンター
TEL 0570-000-250

電源を入れる

電源を入れる

1 電源プラグをコンセントに差し込む



2 リモコンまたは本体右下の電源ボタンを押す

電源が入り、本体前面の電源ランプが緑色に点灯します。

画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。

はじめて電源を入れたときはチャンネル設定が必要です。18 ページの「かんたん設定」に進んでください。

お知らせ

- 本機には、クイックスタート（高速起動）機能がございます。
クイックスタートの設定は 44 ページをご参照ください。

チャンネル設定をする

はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続

調整と設定

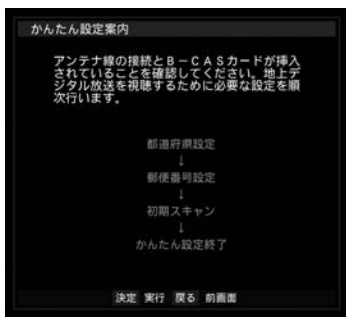
その他

かんたん設定

お買い上げ後、miniB-CAS カードを入れてはじめて電源を入れたときは、「かんたん設定」を行います。お住まいの地域に適したチャンネル設定をしてください。

1 表示に従って、**決定** を押す

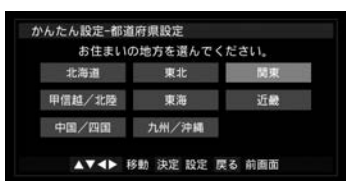
「かんたん設定案内」画面が表示されます。



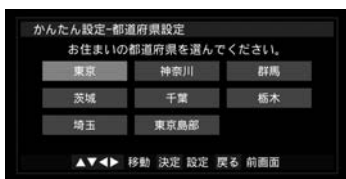
お知らせ

- メニューを表示したまま一定の時間が経過すると、自動的にメニュー表示が消えます。
- 戻る** を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。
- メニュー画面の最下部に、簡易操作ガイドが表示されます。

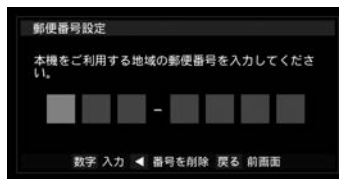
2 ▲▼◀▶でお住まいの地方を選んで、**決定** を押す



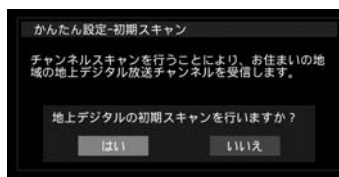
3 ▲▼◀▶でお住まいの都道府県を選んで、**決定** を押す



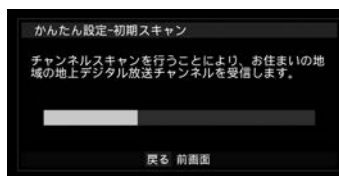
4 お住まいの地域の郵便番号を ① ~ ⑩ で入力し、**決定** を押す



5 地上デジタルの初期スキャン画面が表示されるので「はい」を選んで **決定** を押す

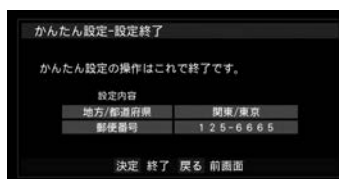


地上デジタル放送チャンネルの初期スキャンが始まります。終了するまでしばらくお待ちください。



6 チャンネルの設定結果を確認して **決定** を押す もう一度スキャンを行う場合は **戻る** を押します。

7 設定内容が表示されるので **決定** を押す 以上でかんたん設定は完了です。



お知らせ

- 「かんたん設定」の内容を変更したい場合は、**メニュー** → 「各種設定」 → 「かんたん設定」で設定し直すことができます（48 ページ参照）。
- 地域によっては地上デジタルのチャンネルの設定番号が変更になる場合があります。その地域にお住まいの方はチャンネル再スキャンをしてください（48 ページ参照）。

テレビを見る

1 リモコンまたは本体右下の電源ボタンを押す
前面の電源ランプが緑色に点灯します。
しばらくすると、前回見ていたチャンネルが表示されます。

2 数字ボタン (①~⑫)、チャンネルへ▼ボタン
またはチャンネル番号を入力してチャンネルを
選ぶ

チャンネルへ▼ボタンでは、押すたびにチャンネルが順送りに切り換わります。

3 音量+/-で音量を調節する

◆ チャンネル番号の入力


チャンネル番号を入力するときは、**[3桁入力]** を押し、
数字キーで3桁のチャンネル番号を入力します。

- デジタル放送では、3桁のチャンネル番号と、
枝番がある番号があります。必要に応じて枝番
(0~9) を入力してください。

◆ 音だけを消したいとき

1  を押す
消音
画面右下に「消音」と表示されます。



2 元に戻すには、もう一度  を押す
消音
音量+/-を押しても音が出ます。

◆ 省エネ機能

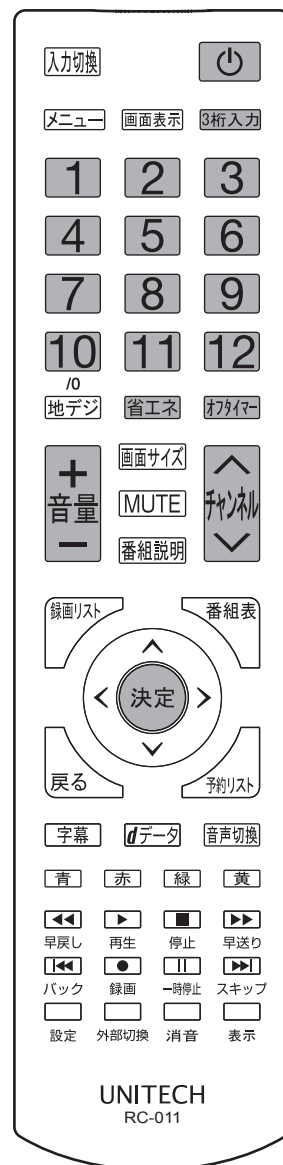
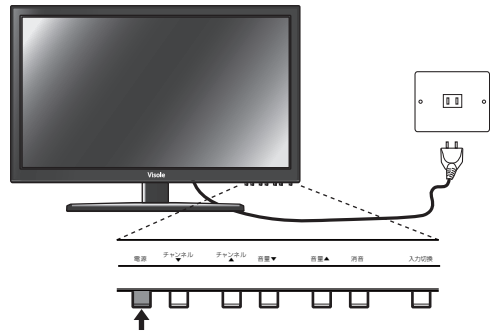
リモコンの**[省エネ]**を押して設定することで、消費電力を5~10%低減することができます。「省エネ1」は約5%、「省エネ2」は約10%の消費電力を抑制します。

- 画面が暗くなったり、音質が劣化する場合があります。その場合は「省エネ0」にして機能をオフにしてください。

◆ オフタイマー機能

リモコンの**[オフタイマー]**を押すことで30分、1時間、1時間30分、2時間の範囲でオフタイマーを設定できます。

- [オフタイマー]**を押すことで設定時間と「切」が順に切り換わります。



番組表を見る

デジタル放送では、放送局から送られてくる番組情報をもとに、新聞や雑誌などのテレビ番組欄のような放送局別の番組一覧を見ることができます。現在から最大7日先までの放送予定を確認できます。

- 1 デジタル放送視聴中に **番組表** を押す
視聴中のチャンネルの番組表が表示されます。



- 2 番組表を消すには、**戻る**、**番組表** を押す

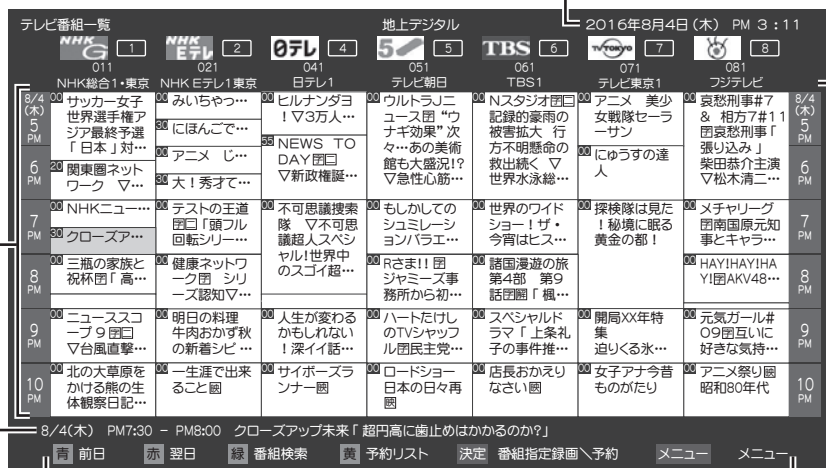
◆ 番組表の見かた

▲▼で時間帯が移動します。

7チャンネル分の番組表が表示されます。
◀▶でほかのチャンネルに移動します。

現在日時表示

選択している番組枠の情報が表示されます。



リモコンボタンの操作ガイド

視聴予約を設定する

- 1 デジタル放送視聴中に **番組表** を押す
番組表が表示されます。
- 2 ▲▼◀▶で予約したい番組を選び **決定** を押す
- 3 番組説明を確認して、「**視聴予約**」を選び、**決定** を押す
- 4 番組表の画面で、予約した番組のボックスに緑のマークが付く

ご注意

- 視聴予約を設定後、電源を切ると予約は取り消されます。

視聴予約を取り消す

- 1 予約した番組を選び、**決定** を押す
- 2 番組説明を確認して、「**予約取消**」を選び、**決定** を押す
- 3 番組表の画面で予約した番組のボックスから緑のマークが消える

はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続

調整と設定


その他


番組表を見る

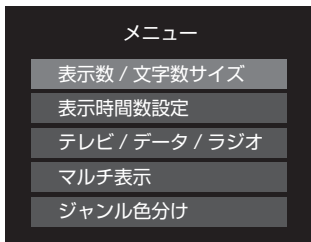
番組表のメニュー

番組表のメニューから文字サイズや表示時間を変更するなどの設定ができます。


◆ 表示数／文字サイズを変更する

1  を押す


2  を押す
番組表メニューが表示されます。




3 ▲▼で「表示数／文字サイズ」を選び  を押す


4 ▲▼で「7列／文字サイズ。小」「5列／文字サイズ。大」から選択し  を押す

◆ 表示時間数を設定する


1  を押す

2  を押す
番組表メニューが表示されます。

3 ▲▼で「表示時間数設定」を選び  を押す

4 ▲▼で「4時間表示」「6時間表示」から選択し  を押す


◆ ラジオ、独立データ放送を楽しむ


1  を押す


2  を押す

3 ▲▼で「テレビ／データ／ラジオ」を選び、
 を押す

◆ マルチ表示


1  を押す


2  を押す
番組表メニューが表示されます。


3 ▲▼で「マルチ表示」を選び  を押す


4 ▲▼で「オン／オフ」から選択し  を押す


◆ ジャンル色分けを設定する

1  を押す

2  を押す
番組表メニューが表示されます。

3 ▲▼で「ジャンル色分け」を選び  を押す

4 ▲▼で各ジャンルを選び  を押す
チェックボックスのチェックを付けた状態で番組表のジャンル色分けが設定され、チェックをはずすと色分けが解除されます。

5  を押す

デジタル放送の便利な機能を使う

はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続

調整と設定

その他

字幕を表示する

字幕のある番組のときに、字幕の表示・非表示を切り換えることができます。

1 デジタル放送視聴中に [字幕] を押す



字幕設定画面で「第2言語」が選択されている場合、第二言語がある番組では「字幕言語2」が表示されます。

もう一度 [字幕] を押すと非表示（字幕オフ）に切り換わります。

◆ 文字スーパーを表示する

文字スーパーは、見ている番組とは連動せずに速報ニュースなどを表示するものです。

字幕設定画面で「文字スーパー表示」の「する」を選び、「文字スーパー言語」を選択して [決定] を押します。

お知らせ

- 字幕設定／文字スーパー表示は、設定メニューの「各種設定」から設定することができます。51 ページをご覧ください。

チャンネル情報を見る／音声を切り換える

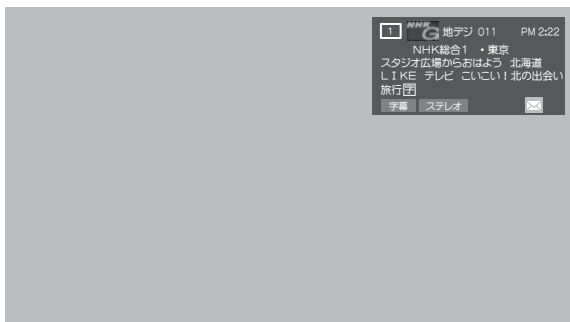
チャンネル情報を見る

画面表示ボタンを押すと、現在受信中のチャンネル番号・音声情報・映像情報などが表示されます。

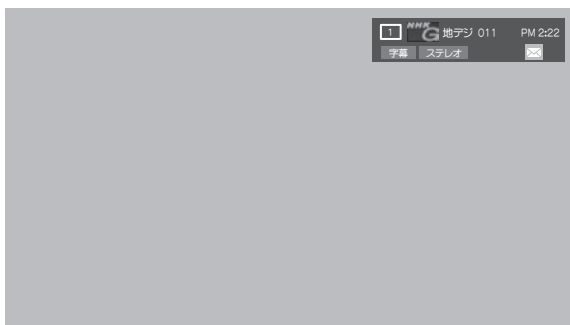
1 **画面表示** を押す

2 表示を消すには、もう一度 **画面表示** を押す

チャンネル番号、放送局名、現在時刻、番組名などが表示されます。



しばらくすると省略された表示に変わります。



お知らせ

- 入力切換をしているときは、外部入力の種類が表示されます。

番組情報を見る

番組説明 を押すと、番組の詳細情報が表示されます。表示を消すには、再度 **番組説明** を押すか **戻る** を押します。

音声を切り換える

音声多重放送の視聴中に、音声を切り換えることができます。

1 **音声切換** を押す

押すたびに別の音声に切り換わります。



お知らせ

- 受信している放送によって音声表示は異なります。

はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続

調整と設定

その他

データ放送を見る

はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続

調整と設定

その他

◆ データ放送

- デジタル放送では映像や音声による通常のテレビ放送以外に、データ放送があります。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルとは独立した別のチャンネルで行われているデータ放送のほかに、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送があります。インターネットを利用し、放送局との間で双方向サービスを行うことができます。ショッピング番組で買い物したり、クイズ番組でクイズに参加して回答することができます。

連動データ放送を楽しむ

テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

1 (dデータ) を押す

放送局により、表示される内容が異なります。画面に表示される操作指示に従って操作してください。

2 ▲▼◀▶ で移動し、(決定) を押す

選択した情報を見ることができます。

(dデータ) を押すと、通常の画面に戻ります。

お知らせ

- リモコンのカラーボタン（青・赤・緑・黄）のデータ放送画面内に表示された色と同じ色を選択して、閲覧することができます。

お知らせ

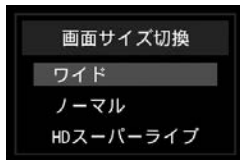
- 放送データの取得中は、一部の操作ができないことがあります。
- 放送画面の操作説明などで、(dデータ)は「データボタン」、「データ放送ボタン」と表示される場合があります。

画面サイズを変える

視聴している番組に適した画面サイズを選ぶことができます。

◆ 地上デジタル放送の 16 : 9 映像のとき

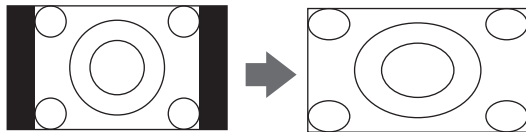
- 1 リモコンの **画面サイズ** を押す
画面サイズ切替が表示されます。



- 2 「ワイド」「ノーマル」「HDスーパーライブ」を選んで、**決定** を押す

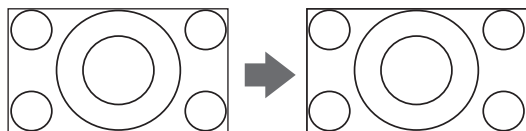
ワイド

左右に黒帯のある画像を、画面いっぱいに拡大して表示します（上下の映像が画面の外に隠れ、横伸びします）。



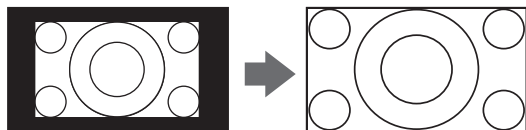
ノーマル

16 : 9 の映像をそのままのアスペクト比で表示します。



HDスーパーライブ

上下左右に黒帯のある映像を画面いっぱいに表示します。



録画・予約をする

録画機能について

◆ USB ハードディスクの接続・設定と録画前の準備

録画前の準備

- USB ハードディスクと本機を接続しておきます (33 ページ)。
- USB ハードディスクの残量を確認します (30 ページ)。
- 残量不足や番組数超過になりそうな場合は、不要な番組を削除してください (32 ページ)。

ご注意

- 本機に登録していないUSB ハードディスクでは録画できません。
- 録画や録画予約の操作をしたときに接続した機器が選択できない場合は、上記ページを参照し、接続・設定を確認してください。

◆ 録画・予約の種類

録画・予約の種類	記載ページ
見ている番組を録画する	27 ページ
番組表から録画予約する	27 ページ
録画する日時を指定して録画予約する	27 ページ

ご注意

- 録画できるのは本機で受信した放送番組です。データ放送の内容は録画できません。
- 現在視聴している番組と違う番組を録画することはできません。
- 最大 7 日後、16 番組の録画予約をすることができます。
- ビデオや HDMI など外部入力の映像を録画することはできません。
- 本製品で録画したデータをパソコンなどで視聴することはできません。
- USB ハードディスクの最大予約件数は 32 件です。また、最大総番組数は 300 件です。

- 録画中に、本機や USB ハードディスクの電源をオフ (停電等も含む) したり、USB ケーブルを抜き差ししたりすると、本機や USB ハードディスクの故障の原因になります。USB ハードディスクの認識不良、録画番組が消去されるなど、本機の動作が不安定になる場合があります。
- 録画中に停電したり、電源プラグを抜いたりすると、途中まで録画した番組は残りません。

重要なお知らせ

万一、本機の故障や故障による修理、受信障害などによって録画・録音、録画データの再生ができなくなった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

◆ 録画可能時間の目安

例：500GB の USB ハードディスクの場合

放送番組の種類	録画可能時間の目安
地上デジタルハイビジョン放送（HD）番組だけを録画する場合	約 53 時間

- 録画可能時間表示はあくまでも目安としてご確認ください。

見ている番組を録画する



現在視聴しているデジタル放送番組を録画します。

1  を押す

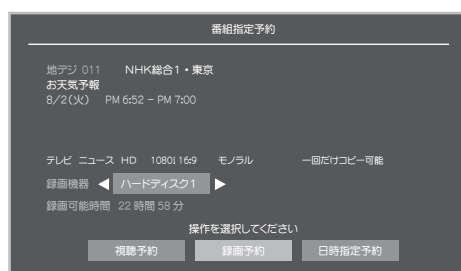
見ている番組の録画が始まります。


録画を開始しました。
録画実行中は電源プラグを抜かないでください。



番組表から録画予約する

1  を押す2 ▲▼◀▶ で録画したい番組を選び、 を押す

3 以下の操作で録画・予約をする





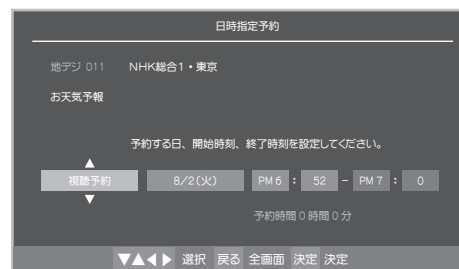
- ① ◀▶ で設定する項目を選び、 を押す
- 視聴予約.....指定した番組の視聴予約
 - 録画予約.....指定した番組の録画予約
 - 日時指定予約.....日時を指定して録画予約

4  を押す「予約を設定しました」が表示されたら、 を押します。これで録画予約は完了です。番組表に 録画予約アイコンが表示されます。

お知らせ

- 地上デジタル放送で放送局の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
- 複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。
- 予約の確認や取消しについては、28 ページをご覧ください。

録画する日時を指定して録画予約する

1  を押す2 ▲▼◀▶ で録画したい番組を選び、 を押す3 ◀▶ で「日時指定予約」を選び、 を押す

日時指定予約画面が表示されます。

録画・予約をする

はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続

調整と設定

その他

4 録画予約の日時を設定する

- ① 設定する項目を ◀▶ で選び、▲▼ で日時を設定する
 - 6週間先まで指定できます。
 - 特定の日のほかに、「毎日」、「毎週（月）～「毎週（日）」、「月～木」、「月～金」、「月～土」などの繰り返し録画も選べます。
 - 設定できる時間は最大 12 時間です。
- ② 設定が終わったら、(決定) を押す

5 「予約を設定しました」が表示されたら、(決定) を押す

お知らせ

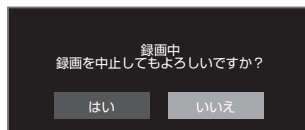
- 予約の確認や取消しについては、28 ページをご覧ください。

録画を中止する

録画を途中でやめるときは、以下の操作をします。ハードディスクの残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。

◆ 見ている番組を録画中のとき

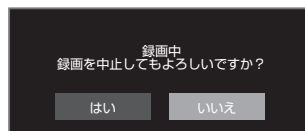
- 1 (停止) を押す
録画が停止します。
録画の中止を確認するメッセージが表示されます。
- 2 ◀▶ で「はい」を選び、(決定) を押す



録画が停止します。

◆ 録画予約で録画中のとき

- 1 (停止) を押す
録画の中止を確認するメッセージが表示されます。
- 2 ◀▶ で「はい」を選び、(決定) を押す

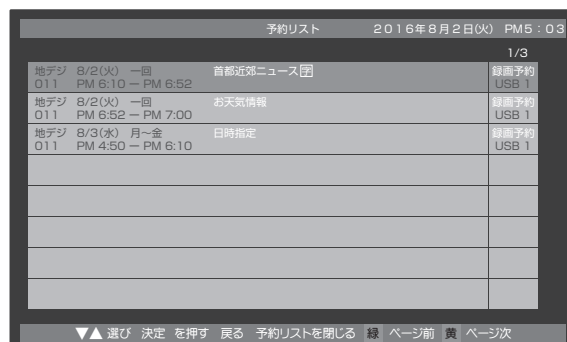


録画が停止します。

予約の確認・取消しをする

録画予約した内容の確認、取り消しができます。

- 1 (番組表) を押す
- 2 (黄) を押す
予約リストが表示されます。



- 3 ▲▼ で予約を確認する番組を選び、(決定) を押す
この画面で予約の確認ができます。
- 4 予約を取り消すときは、◀▶ で「予約取消」を選び、(決定) を押す
予約が取り消されます。

録画予約に関するお知らせ

◆ 録画予約と他の録画や視聴予約が重なった場合、「録画予約」が優先

録画予約と他の録画や視聴予約が重なった場合、録画予約が最優先され、他の録画や視聴予約は中止、または取り消しとなります。

録画予約	優先1位		
・「番組指定録画」画面からの録画	×	優先2位	
・□からの録画 録画			
視聴予約	×	×	優先3位

◆ 放送時間に変更された場合、「放送時間連動する」に設定した番組が優先

予約した番組の放送時間に変更されて、他の予約番組と重なったときは、「放送時間連動する」に設定された番組が優先されます。

録画予約A 「放送時間連動する」	予定時間	放送時間変更	録画
録画予約B 「放送時間連動しない」			録画中止 ×

◆ 「放送時間連動する」に設定した予約番組が重なった場合、先に始まった録画が優先

予約した番組の放送時間に変更されて、他の予約と重なったときは、放送開始時刻が早い番組が優先されます。また、同時刻に録画開始時刻になった場合は、先に設定した予約が優先されます。

録画予約A 「放送時間連動する」	予定時間	放送時間変更	×
録画予約B 「放送時間連動する」		延長時間	録画 録画
録画予約C 「放送時間連動する」			×

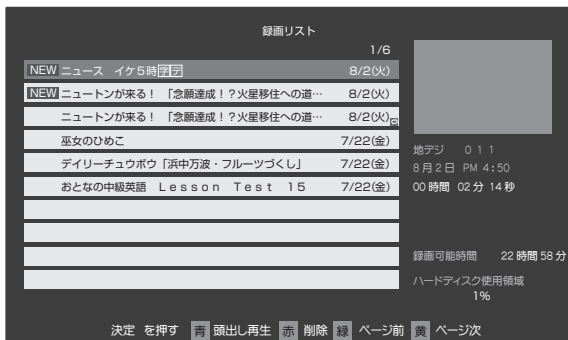
録画した番組を再生する

録画番組を再生する

USB ハードディスクに録画・保存されている番組を見るには、以下の操作をします。

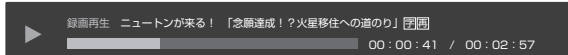
◆ 再生の基本操作

- 1 **録画リスト** を押す
録画リストが表示されます。



録画リストには、選択している番組の簡単な情報や、録画可能時間、USB ハードディスクの使用領域 (%) などが表示されます。

- 2 **▲▼** で見たい番組を選び、**決定** を押す



- 選んだ番組の再生が始まります（再生されるまでに時間がかかる場合があります）。
- 番組の最後まで再生が終わると、そのまま静止状態になり、しばらくすると録画リストに戻ります。
- 再生中にできるリモコン操作については、31 ページを参照してください。

- 3 再生を停止させるには、**停止** を押す

- 録画リストの画面に戻ります。

ご注意

- 電源を入れた直後は USB ハードディスクの認識に時間がかかることがあり、すぐに録画リストが開かない場合があります。その場合は、しばらく待ってから再度録画リストを開いてください。
- 本機で録画した番組は、本機でのみ再生できます。他のテレビ（同じ形式のテレビも含む）では再生できません。

- USB ハードディスクに録画した番組を再生中に、本機や USB ハードディスクの電源を切ったり（停電等も含む）、USB ケーブルを抜き差ししたりすると、本機や USB ハードディスクの故障の原因になります。USB ハードディスクの認識不良、録画番組が消去されるなど、本機の動作が不安定になる場合があります。

◆ 続きから再生する－レジューム再生

- ① 再生する番組を選び、**決定** を押す
前回、再生を途中で停止した場合は、続きから再生されます。

◆ 番組の冒頭から再生する－頭出し再生

- ① 再生する番組を選び **青**（頭出し再生）を押す

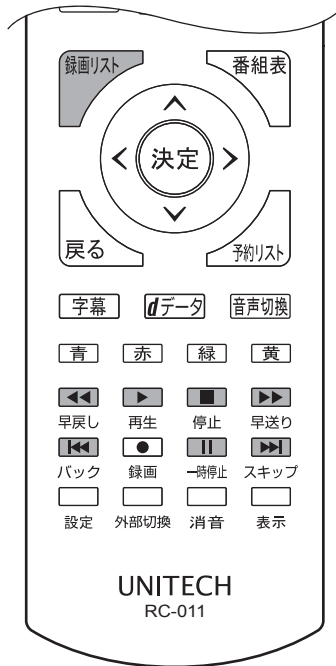
◆ 録画中の番組を再生する－追っかけ再生

録画が終了するまで待たずに、録画中の番組の冒頭から再生します。

- ① 録画中の番組を選び、**決定** を押す

録画した番組を再生する

◆ 録画番組の再生中にできるリモコン操作



◆ 録画番組の情報や番組説明を見る 番組の情報を見る

- ① 再生中に **画面表示** を押す
再生中の番組の情報が表示されます。
- ② 表示を消すには、もう一度 **画面表示** を押す

ボタン	内容
再生	録画番組の再生を開始します。
一時停止	再生中に押すと一時停止になります。 • 一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。
停止	再生を停止し、録画リストに戻ります。
早送り	早送り再生をします（押すたびに速さが変わります）。
早戻し	早戻し再生をします（押すたびに速さが変わります）。
スキップ	録画番組再生時に次のチャプターに進みます。
バック	録画番組再生時に前のチャプターに戻します。
録画リスト	再生中に押すと、録画リストが表示されます。

はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続

調整と設定

その他

録画した番組を再生する

はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続


調整と設定

その他

録画した番組を保護する

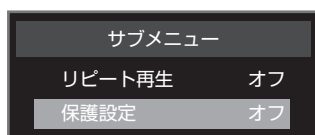
録画した番組を誤って削除しないように保護することができます。


* 録画中にこの操作はできません。

1  を押す




2 ▲▼で保護する番組を選び、 を押す

3 ▲▼で「保護設定」を選び、 を押す




4 ▲▼でオンを選び  を押す





- 選択した番組が保護されます (🔒がつかます)。
- 保護されている番組を選び、 を押して、▲▼で「保護設定」を選び  を押します。▲▼でオフを選び  を押すと、保護を解除することができます。

録画した番組をリピート再生する

録画した番組を繰り返し再生することができます。

1  を押す




2 ▲▼でリピート再生する番組を選び、 を押す

3 ▲▼で「リピート再生」を選び  を押す



4 ▲▼でオンを選び  を押す




- 選択した番組がリピート再生の設定がされ、録画リストで  がつきます。
- 保護されている番組を選び、 を押して、▲▼で「リピート再生」を選び  を押すと、リピート再生の設定を解除することができます。

録画した番組を削除する

1  を押す

2 ▲▼で削除する番組を選ぶ

3  を押す

4 確認画面で、 で「はい」を選び、 を押す



5 削除が終了したら  を押す

お知らせ

録画リストについて

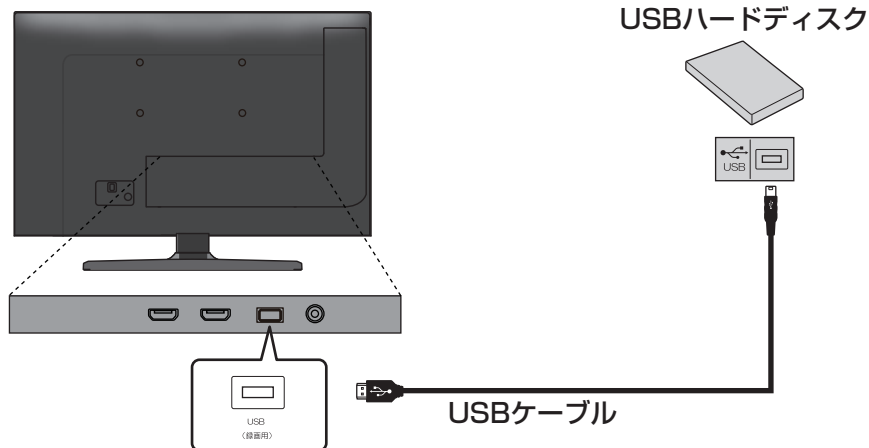
- 録画開始直後の番組は、録画リストに表示されるまで少し時間がかかります。
- 録画リストに表示できる最大数は300番組までです。

録画機の準備をする

本機に接続した USB ハードディスク（別売り）で、デジタル放送番組の録画や録画予約ができます。

USB ハードディスクを接続する

本機背面の USB 端子（録画用）に接続してください。



お知らせ

- 本機に接続できる USB ハードディスクの最大容量は 3TB です。
- 本機に接続できる USB ハードディスクについては、65 ページをご覧ください。
- USB ハブを使用することで、4 台までの USB ハードディスクを接続できます。
- 複数の USB ハードディスクを接続される場合は、AC アダプターで駆動するタイプのハードディスクを接続してください。

ご注意

- パソコンで使用していた USB ハードディスクを本機に接続して登録すると、パソコンなどで保存していたデータはすべて消去されます。
- USB ハードディスクの動作中は、USB ハードディスクの電源を切ったり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。保存した内容が消えたり、ハードディスクが故障したりする原因となります。

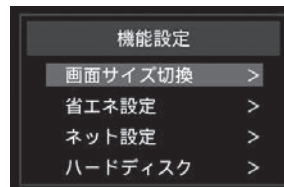
- 本機に接続し初期化登録を行った USB ハードディスクは本機以外のテレビやパソコンなどでは利用できません。

USB ハードディスクを登録する

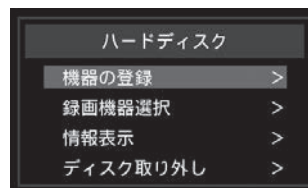
USB ハードディスクの登録を行います。

1 **メニュー** を押して、**▲▼** で「機能設定」を選び、**決定** を押す

2 **▲▼** で「ハードディスク」を選び **決定** を押す



3 「機器の登録」を選択し **決定** を押す



録画機の準備をする

はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続

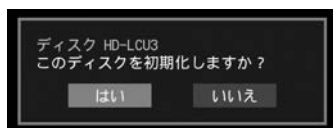
調整と設定

その他

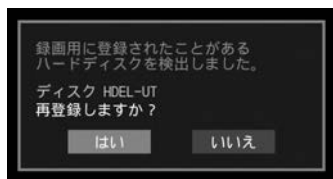
4 ▲▼で登録する機器を選択し、**緑**（新規登録）を押す



初期化の確認画面が表示されます。



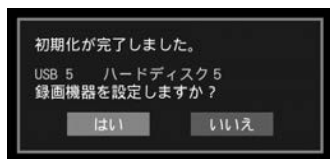
以前登録されていたディスクを選択した場合は、再登録の確認画面が表示されます。



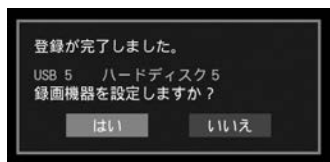
5 ◀▶で「はい」を選び **決定** を押す

新規登録の場合は、「ハードディスク初期化中」が表示されます。初期化中は、電源を抜かないようご注意ください。

6 ◀▶で「はい」を選び **決定** を押す



再登録の場合は、再登録の確認画面が表示されます。



- 「初期化失敗」が表示された場合、**決定** を押し、手順 5 からやり直してください。
- 「再登録失敗」が表示された場合、**決定** を押し、手順 4 からやり直してください。

ご注意

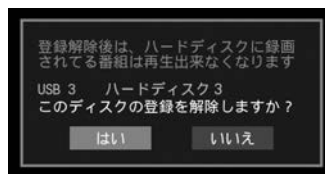
- USB ハードディスクを初めて接続するときは、必ず新規登録（初期化）をしてください。登録しないと録画することはできません。初期化を行うと、USB ハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。
- USB ハードディスクは、本機に接続しないと録画することはできません。
- 登録できるのは 8 台までです。
- USB ハードディスクによっては、機器の登録画面でモデル名が正しく表示されない場合があります。

◆ 登録解除

1 ▲▼で登録解除する機器を選択し、**赤**（登録解除）を押す



2 ◀▶で「はい」を選び **決定** を押す



3 **決定** を押す



「機器の登録」画面に戻ります。登録解除したハードディスクに「未登録」と表示されていることを確認してください。

お知らせ

- 複数の USB ハードディスクに個別の設定をすることはできません。
- ご使用の USB ハードディスクによっては、機器の「待機」「入」の状態を正しく示さない場合があります。
- 本機の電源が「切」や「待機」の状態でも、「自動スキャン」、「番組情報の取得」などが内部で動作していると、ハードディスクの電源が「入」になることがあります。

再生機器を接続する

はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続

調整と設定

その他

DVD プレーヤーやビデオカメラ、ゲーム機などの AV 機器を接続して、本機で楽しむことができます。高精細、高画質に対応した出力端子に接続するとよりきれいな映像が楽しめます。接続する機器の出力端子に応じて、最適な映像端子をお選びください。



お知らせ

- 本機には接続に使用するケーブル類は付属しておりません。外部機器を接続する際は、あらかじめ必要なケーブル類をご確認の上、お客様にてご用意ください。

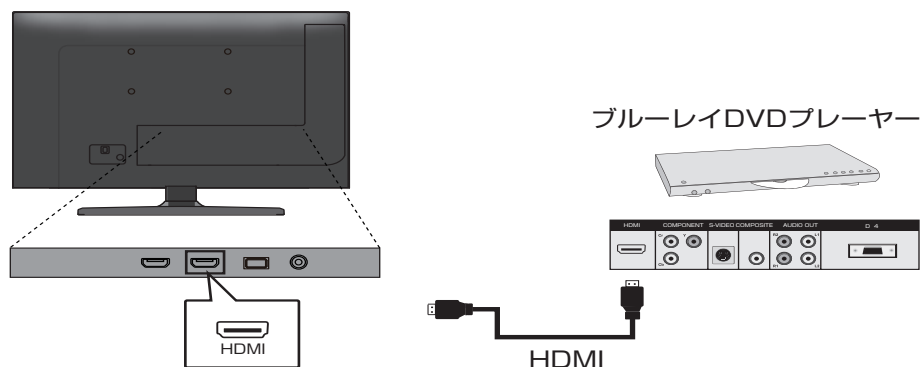
◆ 外部機器を接続する際のご注意

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 接続の際は、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- プラグは奥まで完全に差し込んでください。差し込みが不完全だと、ノイズが発生する原因となります。

HDMI 端子を使う場合

HDMI 端子のあるブルーレイ DVD プレーヤー、ケーブル TV や衛星放送のセットトップボックスなどを本機に接続することができます。

HDMI ケーブルを 1 本接続するだけで、デジタル信号のまま映像信号と音声信号を入力することができます。

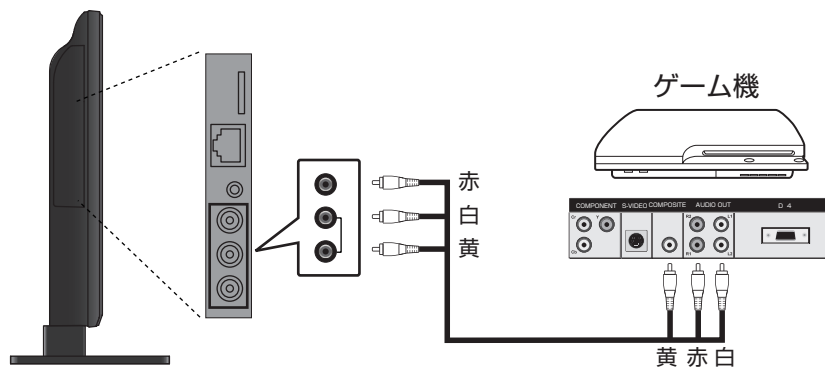


お知らせ

- HDMI の標準技術規格に対応した機器をお使いください。

再生機器を接続する

映像端子を使う場合



はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続

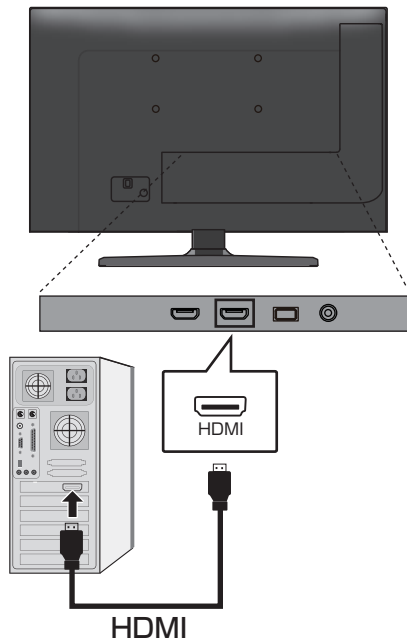
調整と設定

その他

外部機器を接続する

パソコンを接続する

本機に HDMI 端子のあるパソコンを接続して、本機の液晶画面をパソコンのモニターとして使うことができます。



ご注意

- PC から音声を出力したいときは、PC と本機の HDMI1 音声入力端子を接続してください。
- 接続するパソコンの取扱説明書もご覧ください。
- 対応出力フォーマットは、接続するパソコンの仕様をご確認ください。
- 接続するパソコンによっては、内容を正しく表示できない場合があります。

お知らせ

- パソコンを接続する前に、パソコンの画面設定（解像度、周波数）は取扱説明書の仕様を確認し、表示できる設定に変更してください。

はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続

調整と設定

その他

アンテナの方向調整と設定

地上デジタルアンテナレベル

「かんたん設定」をしても地上デジタル放送が正しく受信できなかったときは、お買い上げの販売店などにご相談のうえ、以下の操作でアンテナの方向調整をしてください。

1 以下の操作で「アンテナ設定」画面にする

[メニュー] を押します。

▲▼で「各種設定」を選び、[決定] を押します。

▲▼で「機器設定」を選び、[決定] を押します。

▲▼で「アンテナ設定」を選び、[決定] を押します。



2 ◀▶で「伝送チャンネル」を選ぶ

お住まいの地域の地上デジタル放送に使用されている伝送チャンネルを選んでください。



◀▶を押すたびに以下のように切り換わります。

VHF01~VHF12 ↔ UHF13~UHF62 ↔ MID-13~MID-22 ↔ SHB-23~SHB-63

3 アンテナをゆっくり動かして、「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整する

アンテナレベルの増減に応じて、棒グラフが表示されます。

高画質で放送を受信するためには目安として60%を確保する必要があります。

4 アンテナを固定して、[決定] を押す

接続した機器の映像を見る（入力切替）

本機に接続した DVD プレーヤーやビデオデッキなどの使用時に入力切替を行います。

1 **入力切替** を押す

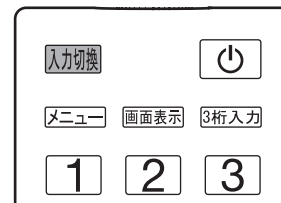
2 **入力切替** を繰り返し押して、入力モードを選び **決定** を押す

▲ ▼ でも選択することができます。



お知らせ

- 本体背面の入力切替ボタンでも入力切替ができます。
- 音量の調節は本機のリモコンで行いますが、その他の操作は接続した機器の取扱説明書に従って操作してください。



テレビ
(地上デジタル)



ビデオ



HDMI 01

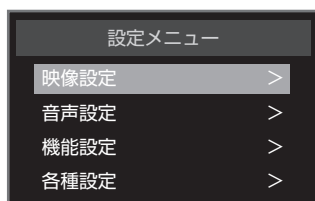


HDMI 02

メニュー画面の操作方法

本機のさまざまな設定を変更することができます。
設定できる項目の詳細については、次ページ以降
をご覧ください。

- 1 **メニュー** ボタンを押す
設定メニューが表示されます。



お知らせ

- メニューを表示したまま一定の時間が経過すると、自動的にメニュー表示が消えます。
- **戻る** を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。
- メニュー画面の最下部に、簡易操作ガイドが表示されます。
- 表示されるメニューの中でグレーアウトされている項目は、本機では機能いたしません。

映像設定メニュー

現在選択されている入力モード（テレビ、ビデオ、HDMI 1、HDMI 2）の映像を、お好みの画質に調整できます。

- 1 **メニュー** を押す
設定メニューが表示されます。
- 2 **▲▼** で「映像設定」を選び、**決定** を押す
- 3 **▲▼** で設定したい項目を選び、**決定** を押す



◆ 映像モード

あらかじめシーンに合わせた映像設定が用意されています。お好みに合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。



- **標準**
くせのない、標準的な色合いになります。
- **映画**
落ち着いた色合いで、映画などのフィルム映像に適しています。
- **画像**
画像を見るときに適しています。
- **ゲーム**
ゲームを接続したときに最適な映像モードです。
- **スポーツ**
スポーツ観戦を楽しむときに最適な映像モードです。
- **ユーザー**
お好みの映像設定を調整した場合に記憶されます。

◆ 調整項目

コントラスト、明るさ、色の濃さ、色あい、シャープネスの各設定を選択します。



お好みに合わせて調整をしてください。

調整した内容は“ユーザー”として保存され、映像モードで選択をすることができます。

- **コントラスト**
設定値が低いほど明暗の差が弱まり、設定値が高いほど明暗の差が強調されます。



- **明るさ**
設定値が低いほど暗く、設定値が高いほど明るくなります。



- **色の濃さ**
設定値が低いと色が薄く、設定値が高いと色が濃くなります。



- **色合い**
設定値が低いと赤っぽく、設定値が高いと緑っぽくなります。



- **シャープネス**
設定値が低いほど輪郭がぼやけ、設定値が高いほど輪郭がくっきり表示されます。



音声設定メニュー

現在選択されている入力モード（テレビ、ビデオ、HDMI 1、HDMI 2）の音声を、お好みの音質に調整できます。

1 [メニュー] を押す

設定メニューが表示されます。

2 ▲▼で「音声設定」を選び、[決定] を押す

3 ▲▼で設定したい項目を選び、[決定] を押す



◆ 調整項目

バランス、高音、低音の各設定を選択します。

• バランス

左右の音声出力のバランスを調整します。設定値が小さいほど左側を、設定値が大きいほど右側を強調します。



• 高音

設定値が小さいほど高音を弱め、設定値が大きいほど高音を強調します。



• 低音

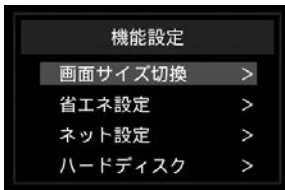
設定値が小さいほど低音を弱め、設定値が大きいほど低音を強調します。



機能設定メニュー

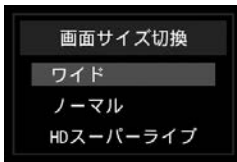
機能設定メニューでは、画面サイズ切換、省エネ設定、ネット設定、ハードディスク設定を行います。

- 1 **メニュー** を押す
設定メニューが表示されます。
- 2 ▲▼で「機能設定」を選び、**決定** を押す
- 3 ▲▼で設定したい項目を選び、**決定** を押す



画面サイズ切換

- 1 「機能設定」メニューで「画面サイズ切換」を選び **決定** を押す
- 2 ▲▼で設定したい画面サイズを選び、**決定** を押す

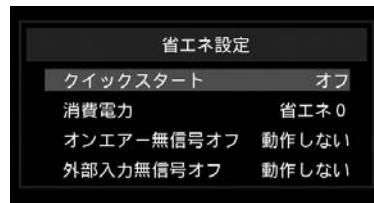


画面サイズ切換について詳しくは 25 ページをご覧ください。

省エネ設定

省エネ設定ではクイックスタート、消費電力、オンエアー無信号オフ、外部入力無信号オフの設定を行います。

- 1 「機能設定」メニューで「省エネ設定」を選び **決定** を押す
「省エネ設定」画面が表示されます。



◆ クイックスタート



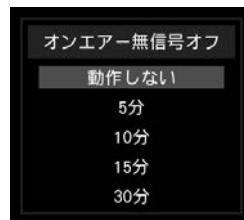
「待機」状態のときに、リモコンの電源ボタンを押すと「クイックスタート」をするかしないかを選択します。

◆ 消費電力



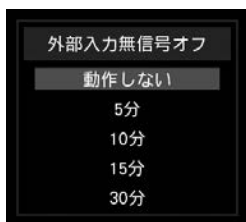
バックライトの明るさを調整し消費電力をお好みに調整できます。

◆ オンエアー無信号オフ



放送受信時に、無信号状態が続くと、電源が切れ待機状態にするかしないかを「動作しない、5分、10分、15分、30分」から選択します。

◆ 外部入力無信号オフ



外部入力選択時に、無信号状態が続くと、電源が切れ待機状態にするかしないかを「動作しない、5分、10分、15分、30分」から選択します。

ネット設定

ネット設定ではインターネットの設定を行います。

- 1 「機能設定」メニューで「ネット設定」を選び
決定 を押す
「ネット設定」画面が表示されます。



◆ ネット情報表示

現在のネット情報を確認することができます。

- 1 「ネット設定」画面で「ネット情報表示」を選び
決定 を押す
「ネット情報表示」画面が表示されます。



機能設定メニュー

はじめに

準備

基本の操作


外部機器との接続


調整と設定

その他


◆ 有線 LAN の設定

データ放送、双方向番組サービス、連動データ放送をご利用になるためには、インターネットの設定が必要になります。

1 「ネット設定」画面で「有線 LAN」を選び  を押す

2 「IP アドレス自動取得」の「自動取得」を選び、
▲▼◀▶で「接続」を選び  を押す



3 しばらくして「接続成功」が表示されたら  を押す

「設定に失敗しました」と表示された場合、ネットワークケーブルが正しく接続されているかご確認ください。

手動で設定する場合

IP アドレスの自動取得ができない場合は、手動で入力します。

1 「有線 LAN の設定」の手順 2 で「手動入力」を選ぶ




2 IP アドレス、DNS 設定などを数字ボタンで入力する

 を押すと入力した数字を削除できます。

3 ▲▼で「接続」を選び  を押す



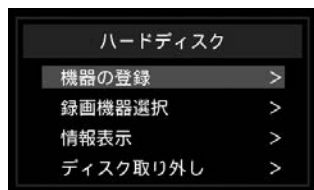
「接続成功」が表示されたら  を押します。

ハードディスク

本機に USB でハードディスクを初めて接続するときは、初期化（登録）を行います。

- 1 「機能設定」メニューで「ハードディスク」を選び (決定) を押す

「ハードディスク」画面が表示されます。



◆ 機器の登録

ハードディスクの登録を行います。

- 1 「ハードディスク」画面で「機器の登録」を選び (決定) を押す

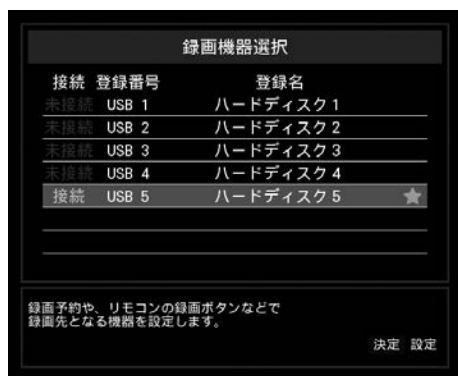
- 2 「機器の登録」画面でハードディスクを登録する。詳しくは 33 ページをご覧ください。

◆ 録画機器選択

録画先のハードディスクを選択します。

- 1 「ハードディスク」画面で「録画機器選択」を選び (決定) を押す

- 2 録画先となるハードディスクを ▲▼ で選び (決定) を押す

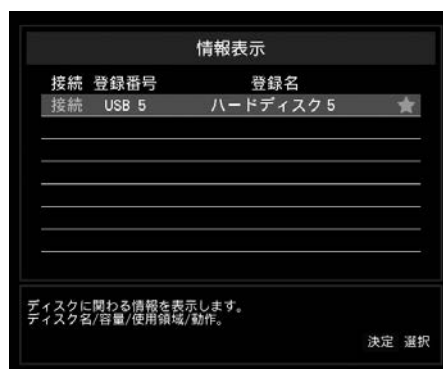


◆ 情報表示

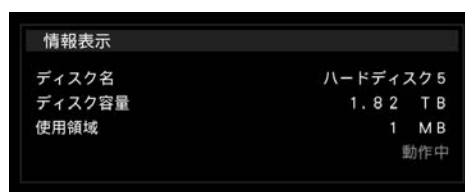
ハードディスクの情報を表示します。

- 1 「ハードディスク」画面で「情報表示」を選び (決定) を押す

- 2 情報を見たいハードディスクを ▲▼ で選び (決定) を押す



選択したハードディスクの情報が表示されます。

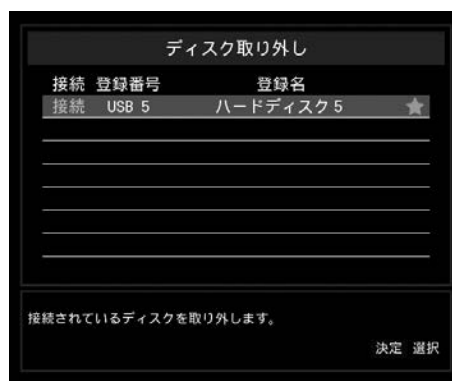


◆ ディスク取り外し

ハードディスクを安全に取り外します。

- 1 「ハードディスク」画面で「ディスク取り外し」を選び (決定) を押す

- 2 取り外すハードディスクを ▲▼ で選び (決定) を押す



- 3 ◀▶ で「取り外し」を選び (決定) を押す



「ディスクを取り外しました。」と表示されたら「確認」を選択し (決定) を押します。

はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続

調整と設定

その他

各種設定メニュー

はじめに

準備

基本の操作

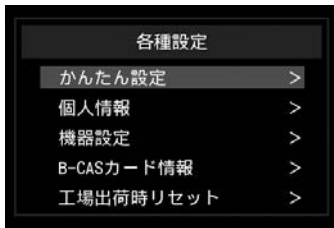
外部機器との接続

調整と設定

その他

各種設定では、かんたん設定、個人情報、機器設定、B-CASカード情報、工場出荷時リセットなどを行います。

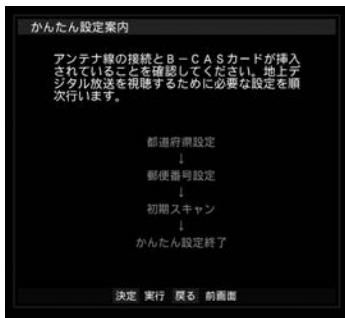
- 1 **メニュー** を押す
設定メニューが表示されます。
- 2 **▲▼** で「各種設定」を選び、**決定** を押す
- 3 **▲▼** で設定したい項目を選び、**決定** を押す



かんたん設定

引越しなどでお住まいの地域が変わったときなどは、再度「かんたん設定」を行ってください。

- 1 「各種設定」メニューで「かんたん設定」を選び、**決定** を押す
「かんたん設定案内」画面が表示されます。



操作手順は 18 ページを参照してください。

個人情報

お住まいの地域や暗証番号、視聴制限などの設定を行います。

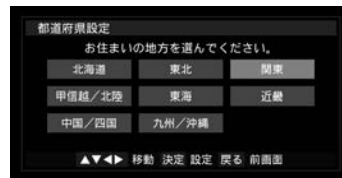
- 1 「各種設定」メニューで「個人情報」を選び、**決定** を押す
「個人情報」画面が表示されます。



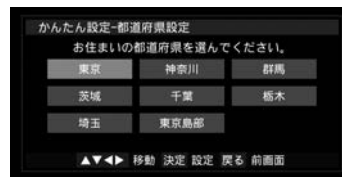
◆ 都道府県設定

地上デジタル放送を受信するためには、正しく都道府県を設定する必要があります。

- 1 「個人情報」画面で「都道府県設定」を選び **決定** を押す
- 2 お住まいの地方を選び、**決定** を押す



- 3 お住まいの都道府県を選び、**決定** を押す

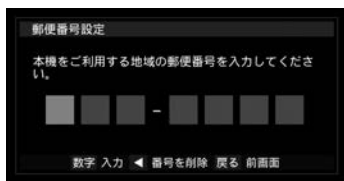


◆ 郵便番号設定

郵便番号設定により、地域の気象情報や地震津波警報、ニュース、文字放送などのデータ放送を受信することができます。

1 「個人情報」画面で「郵便番号設定」を選び **決定** を押す

2 数字ボタン (①~⑩) でお住まいの地域の郵便番号を入力し、**決定** を押す



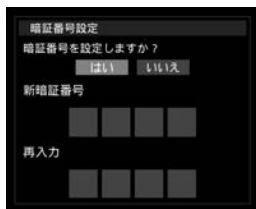
「0」は⑩ボタンで入力します。

◆ 暗証番号の設定

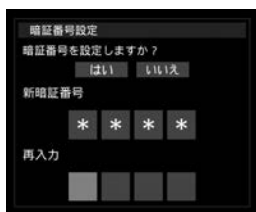
視聴年齢制限のある番組を見るには、暗証番号の設定が必要です。

1 「個人情報」画面で「暗証番号設定」を選び **決定** を押す

2 ◀▶ で「はい」を選び、**決定** を押す



3 ①~⑩で暗証番号を入力し、「再入力」欄にもう一度同じ暗証番号を入力する



「新しい暗証番号を設定しました。」と表示されたら「確認」を選択し **決定** を押します。

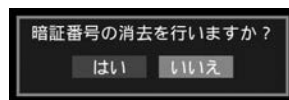
暗証番号を削除する

1 「個人情報」画面で「暗証番号設定」を選び **決定** を押す

2 ①~⑩で現在設定されている暗証番号を入力する
暗証番号設定画面が表示されます。

3 ◀▶ で「いいえ」を選び **決定** を押す

4 「暗証番号の消去を行いますか？」が表示されたら「はい」を押す



お知らせ

- 暗証番号を忘れた場合、本体を初期化して再度暗証番号を設定し直す必要があります。

各種設定メニュー

はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続

調整と設定

その他

◆ 視聴制限設定

デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには暗証番号および以下の設定が必要です。

1 「個人情報」画面で「視聴制限設定」を選び **決定** を押す

2 ①～⑩で暗証番号を入力し、**決定** を押す

3 ◀▶で「有効、無効」と年齢を設定し、**決定** を押す

設定できる年齢は、4歳から20歳までです。



◆ 設定リセット

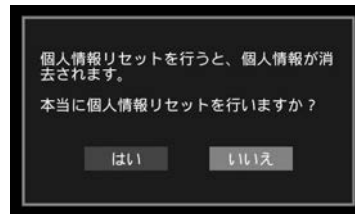
個人情報で設定した内容をすべてリセットします。

1 「個人情報」画面で「設定リセット」を選び **決定** を押す

2 数字ボタン(①～⑩)で暗証番号を入力する



3 ◀▶で「はい」を選び **決定** を押す

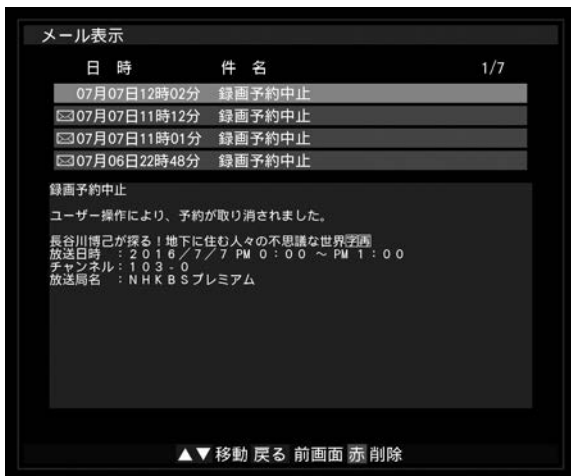


◆ メール表示

放送局からのお知らせや、動作エラーの情報などのメールを表示します。

1 「個人情報」画面で「メール表示」を選び **決定** を押す

「メール表示」画面が表示されます。



メールは最大14件まで保存され、14件を超えると古いものから削除されていきます。

機器設定

字幕表示、受信チャンネル、ソフトウェアのダウンロードなど、機器に関する設定を行います。また、機器の ID 情報を確認することができます。

- 1 「各種設定」メニューで「機器設定」を選び、
 を押す
 「機器設定」画面が表示されます。



◆ 字幕設定

地上デジタル放送の字幕・文字スーパーの表示方法を設定します。

- 1 「機器設定」画面で「字幕設定」を選び を押す
- 2 ▲▼ で設定したい項目を選び、◀▶ で「する、しない」または言語を選び を押す



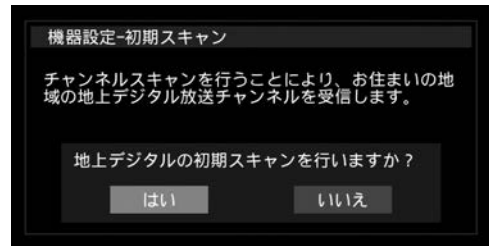
- 字幕と第二言語がある番組のみ設定できます。
- 複数言語の文字スーパーに対応した番組の場合、表示言語を選択することができます。

◆ 初期スキャン

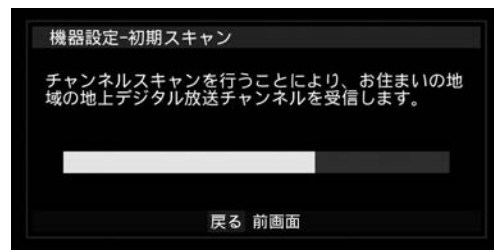
お住まいの地域の地上デジタル放送を自動でスキャンして設定します。現在の内容はクリアされるため、購入後初めて設定する場合、引っ越しした場合に行います。

- 1 「機器設定」画面で「初期スキャン」を選び、
 を押す

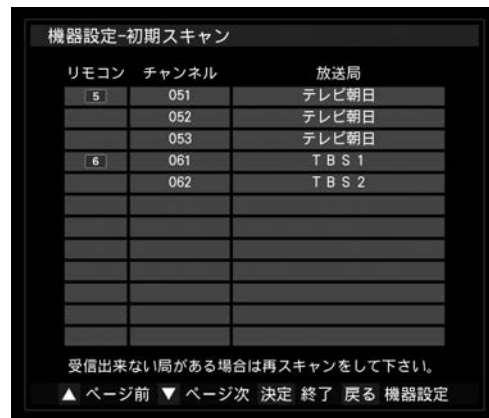
- 2 ◀▶ で「はい」を選び、 を押す



自動スキャンがスタートします。



- 3 受信チャンネルのリストを確認し、 を押す



スキャンを行った後、リモコンの数字ボタンにチャンネルを自動で割り付けます。地域設定に応じて地域内の放送が優先的に割り付けられます。地域外の放送は、チャンネルボタン▲▼または番組表で選局可能です。

各種設定メニュー

はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続

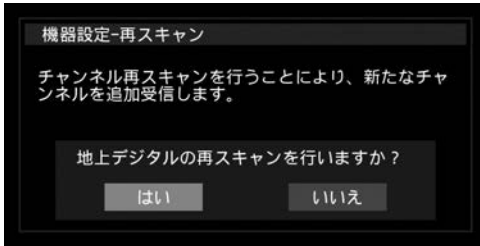
調整と設定

その他

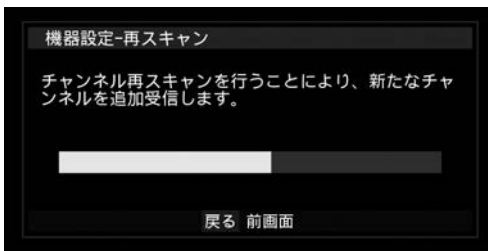
◆ 再スキャン

スキャン後、現在の設定に新たなチャンネルの追加受信を設定します。

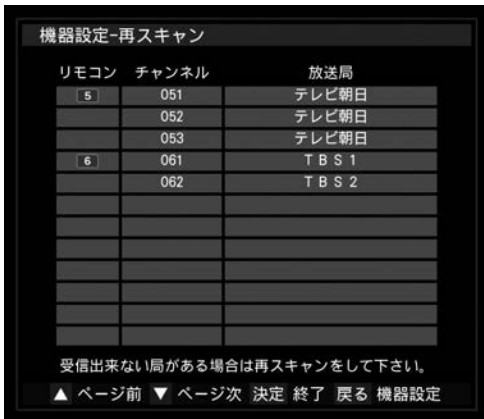
- 1 「機器設定」画面で「再スキャン」を選び、**決定**を押す
- 2 **◀▶**で「はい」を選び、**決定**を押す



再スキャンがスタートします。



- 3 受信チャンネルのリストを確認し、**決定**を押す



◆ アンテナ設定

アンテナの方向調整を行います。

- 1 「機器設定」画面で「アンテナ設定」を選び **決定**を押す
- 2 アンテナ設定画面でアンテナの方向を調整する
詳しくは 39 ページをご覧ください。

◆ スキップ設定

現在放送のないチャンネルや、見たくないチャンネルをスキップすることができます。

- 1 「機器設定」画面で「スキップ設定」を選び **決定**を押す
- 2 **▲▼**でチャンネルを選び、**決定**を押す



選択したチャンネルにSマークが付きます。解除する場合は、もう一度 **決定**を押します。

- 3 設定を確認し、**戻る**を押す
スキップ設定したチャンネルは、チャンネル **▲▼**ボタンでチャンネルを選ぶときにスキップされます。

◆ プリセット設定

リモコンの数字ボタンに、どのチャンネルを割り当てるかを手動で設定します。

1 「機器設定」画面で「プリセット設定」を選び **決定** を押す

2 ▲▼ で設定を変更したいチャンネルを選び、割り当てる数字ボタンを押す



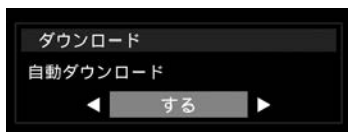
3 設定を確認し、**戻る** を押す

◆ ダウンロード

本機のソフトウェアを自動的にダウンロードして更新する設定をします。

1 「機器設定」画面で「ダウンロード」を選び **決定** を押す

2 ◀▶ で「する」を選び **決定** を押す



- 主電源が OFF になっていると、ソフトウェアのダウンロードを行えません。コンセントを抜かないようご注意ください。電源待機時にダウンロードが実行されます。
- ダウンロードをするためには目安として受信レベル 60% 以上の確保が必要です。
- ダウンロード実行前にメッセージが表示されます。

◆ ID 表示

本機の ID 情報を表示します。

1 「機器設定」画面で「ID 表示」を選び **決定** を押す

「ID 表示」画面が表示されます。



各種設定メニュー

はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続

調整と設定

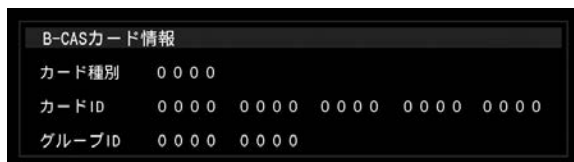
その他

B-CAS カード情報

本機にセットされている B-CAS カードの情報を表示します。

- 1 「各種設定」メニューで「B-CAS カード情報」を選び (決定) を押す

「B-CAS カード情報」画面が表示されます。



工場出荷時リセット

すべての項目を初期化し、お買い上げになった時の設定に戻します。

- 1 「各種設定」メニューで「工場出荷時リセット」を選び (決定) を押す

- 2 ◀▶ で「はい」を選び (決定) を押す



地域別チャンネル表

リモコンの数字ボタンに割り当てられる地上デジタル放送局は下記のとおりです。

引越しや新しく放送局が開局されるなどでチャンネルを割り当て直したいときは、各種設定メニューを表示し、「かんたん設定」で「初期スキャン」または「機器設定」で「再スキャン」を行ってください。

都道府県	チャンネル ポジション	放送局
北海道 (帯広)	3	NHK総合・帯広
	2	NHK教育・帯広
	1	HBC帯広
	5	STV帯広
	6	HTB帯広
	8	UHB帯広
	7	TVH帯広
北海道 (釧路)	3	NHK総合・釧路
	2	NHK教育・釧路
	1	HBC釧路
	5	STV釧路
	6	HTB釧路
	8	UHB釧路
	7	TVH釧路
北海道 (北見)	3	NHK総合・北見
	2	NHK教育・北見
	1	HBC北見
	5	STV北見
	6	HTB北見
	7	TVH北見
北海道 (旭川)	3	NHK総合・旭川
	2	NHK教育・旭川
	1	HBC旭川
	5	STV旭川
	6	HTB旭川
	8	UHB旭川
	7	TVH旭川
北海道 (札幌)	3	NHK総合・札幌
	2	NHK教育・札幌
	1	HBC札幌
	5	STV札幌
	6	HTB札幌
	8	UHB札幌
	7	TVH札幌
	12	放送大学
北海道 (函館)	3	NHK総合・函館
	2	NHK教育・函館
	1	HBC函館
	5	STV函館
	6	HTB函館
	8	UHB函館
	7	TVH函館
北海道 (室蘭)	3	NHK総合・室蘭
	2	NHK教育・室蘭
	1	HBC室蘭
	5	STV室蘭
	6	HTB室蘭
	8	UHB室蘭
	7	TVH室蘭
青森	3	NHK総合・青森
	2	NHK教育・青森
	1	RAB青森放送
	6	ATV青森テレビ
	5	青森朝日放送
岩手	1	NHK総合・盛岡
	2	NHK教育・盛岡
	6	IBCテレビ
	4	テレビ岩手
	5	めんこいテレビ 岩手朝日テレビ

都道府県	チャンネル ポジション	放送局
宮城	3	NHK総合・仙台
	2	NHK教育・仙台
	1	TBCテレビ
	8	仙台放送
	4	ミヤギテレビ
	5	KHB東日本放送
秋田	1	NHK総合・秋田
	2	NHK教育・秋田
	4	ABS秋田放送
	8	AKT秋田テレビ
	5	AAB秋田朝日放送
山形	1	NHK総合・山形
	2	NHK教育・山形
	4	YBC山形放送
	5	YTS山形テレビ
	6	テレビユー山形
	8	さくらんぼテレビ
福島	1	NHK総合・福島
	2	NHK教育・福島
	8	福島テレビ
	4	福島中央テレビ
	5	KFB福島放送
	6	テレビユー福島
茨城	1	NHK総合・水戸
	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	12	放送大学
栃木	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	とちぎテレビ
群馬	12	放送大学
	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
埼玉	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	テレ玉
	12	放送大学
	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
8	フジテレビジョン	

都道府県	チャンネル ポジション	放送局	
千葉	1	NHK総合・東京	
	2	NHK教育・東京	
	4	日本テレビ	
	6	TBS	
	8	フジテレビジョン	
	5	テレビ朝日	
	7	テレビ東京	
	3	チバテレビ	
	12	放送大学	
	東京	1	NHK総合・東京
		2	NHK教育・東京
		4	日本テレビ
6		TBS	
8		フジテレビジョン	
5		テレビ朝日	
7		テレビ東京	
9		TOKYO MX	
12		放送大学	
神奈川		1	NHK総合・東京
		2	NHK教育・東京
		4	日本テレビ
	6	TBS	
	8	フジテレビジョン	
	5	テレビ朝日	
	7	テレビ東京	
	3	tvk	
新潟	12	放送大学	
	1	NHK総合・新潟	
	2	NHK教育・新潟	
	6	BSN	
	8	NST	
	4	TeNYテレビ新潟	
	5	新潟テレビ21	
	3	NHK総合・富山	
富山	2	NHK教育・富山	
	1	KNB北日本放送	
	8	BBT富山テレビ	
	6	チューリップテレビ	
	石川	1	NHK総合・金沢
		2	NHK教育・金沢
4		テレビ金沢	
5		北陸朝日放送	
6		MRO	
8		石川テレビ	
福井	1	NHK総合・福井	
	2	NHK教育・福井	
	7	FBCテレビ	
	8	福井テレビ	
山梨	1	NHK総合・甲府	
	2	NHK教育・甲府	
	4	YBS山梨放送	
	6	UTY	
長野	1	NHK総合・長野	
	2	NHK教育・長野	
	4	テレビ信州	
	5	abn長野朝日放送	
6	SBC信越放送		
8	NBS長野放送		

はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続

調整と設定

その他

地域別チャンネル表

はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続

調整と設定

その他

都道府県	チャンネル ポジション	放送局
静岡	1	NHK総合・静岡
	2	NHK教育・静岡
	6	SBS
	8	テレビ静岡
	4	静岡第一テレビ
岐阜	3	NHK総合・岐阜
	2	NHK教育・名古屋
	1	東海テレビ
	5	CBC
	6	メ〜テレ
愛知	4	中京テレビ
	8	岐阜テレビ
	3	NHK総合・名古屋
	2	NHK教育・名古屋
	1	東海テレビ
三重	5	CBC
	6	メ〜テレ
	4	中京テレビ
	10	テレビ愛知
	3	NHK総合・津
滋賀	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
京都	3	BBCびわ湖放送
	1	NHK総合・京都
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
大阪	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	5	KBS京都
	1	NHK総合・大阪
	2	NHK教育・大阪
兵庫	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
	10	読売テレビ
	3	サンテレビ
奈良	1	NHK総合・奈良
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ

都道府県	チャンネル ポジション	放送局
和歌山	1	NHK総合・和歌山
	2	NHK教育・大阪
	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ
鳥取	10	読売テレビ
	5	テレビ和歌山
	3	NHK総合・鳥取
	2	NHK教育・鳥取
	8	山陰中央テレビ
島根	6	BSSテレビ
	1	日本海テレビ
	3	NHK総合・松江
	2	NHK教育・松江
	8	山陰中央テレビ
岡山	6	BSSテレビ
	1	日本海テレビ
	1	NHK総合・岡山
	2	NHK教育・岡山
	4	RNC西日本テレビ
広島	5	KBS瀬戸内海放送
	6	RSKテレビ
	7	テレビせとうち
	8	OHKテレビ
	1	NHK総合・広島
山口	2	NHK教育・広島
	3	RCCテレビ
	4	広島テレビ
	5	広島ホームテレビ
	8	TSS
徳島	1	NHK総合・山口
	2	NHK教育・山口
	4	KRY山口放送
	3	tysテレビ山口
	5	yab山口朝日
香川	3	NHK総合・徳島
	2	NHK教育・徳島
	1	四国放送
	1	NHK総合・高松
	2	NHK教育・高松
愛媛	4	RNC西日本テレビ
	5	KSB瀬戸内海放送
	6	RSKテレビ
	7	テレビせとうち
	8	OHKテレビ
高知	1	NHK総合・松山
	2	NHK教育・松山
	4	南海放送
	5	愛媛朝日
	6	あいテレビ
福岡	8	テレビ愛媛
	1	NHK総合・高知
	2	NHK教育・高知
	4	高知放送
	6	テレビ高知
福岡	8	さんさんテレビ
	3	NHK総合・福岡
	3	NHK総合・北九州
	2	NHK教育・福岡
	2	NHK教育・北九州
	1	KBC九州朝日放送
	4	RKB毎日放送
	5	FBS福岡放送
7	TVQ九州放送	
8	TNCテレビ西日本	

都道府県	チャンネル ポジション	放送局
佐賀	1	NHK総合・佐賀
	2	NHK教育・佐賀
	3	STSサガテレビ
長崎	1	NHK総合・長崎
	2	NHK教育・長崎
	3	NBC長崎放送
	8	KTNテレビ長崎
	5	NCC長崎文化放送
熊本	4	NIB長崎国際テレビ
	1	NHK総合・熊本
	2	NHK教育・熊本
	3	RKK熊本放送
	8	TKUテレビ熊本
大分	4	KKTくまもと県民
	5	KAB熊本朝日放送
	1	NHK総合・大分
	2	NHK教育・大分
	3	OBS大分放送
宮崎	4	TOSテレビ大分
	5	OAB大分朝日放送
	1	NHK総合・宮崎
	2	NHK教育・宮崎
	6	MRT宮崎放送
鹿児島	3	UMKテレビ宮崎
	3	NHK総合・鹿児島
	2	NHK教育・鹿児島
	1	MBC南日本放送
	8	KTS鹿児島テレビ
沖縄	5	KKB鹿児島放送
	4	KYT鹿児島読売TV
	1	NHK総合・那覇
	2	NHK教育・那覇
	3	RBCテレビ
5	QAB琉球朝日放送	
8	沖縄テレビ(OTV)	

故障かな？と思ったら

つぎのような場合は故障ではないことがあります。修理をご依頼になる前にもう一度ご確認ください。

まず確認してください

電源が入らなかつたり、放送が映らなかつたりした場合は、まず以下を確認してください。



こんな場合は故障ではありません

- 画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかつたり、黒い点がある
液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。
- キャビネットから「ピシッ」というきしみ音がする
部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。
- 本機の内部から「カチッ」という音がする
本機は、電源が「待機」のときに番組情報取得などの動作をします。このときに、内部から「カチッ」という音が聞こえることがあります。

全般

症状	原因や対処のしかた
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ → 電源コードの接続を確認してください。
リモコンが操作できない	<ul style="list-style-type: none">• リモコンを受光部に向けていますか？• お部屋の蛍光灯の強い光がリモコン受光部に当たっていませんか？ → リモコン受光部に強い光を当てないでください。• 乾電池が消耗していませんか？ → 新しい乾電池に交換してみてください。• 乾電池の極性（+-）が逆になっていませんか？ → 正しく入れ直してください。• テレビ本体の電源ボタンで OFF にしていませんか？ → テレビ本体の電源ボタンで OFF にした場合、リモコンでの操作を行うことができません。（17 ページ参照）
突然電源が切れた	<ul style="list-style-type: none">• オフタイマーを設定していませんか？ → オフタイマーの設定を確認してください。

故障かな？と思ったら

映像

症状	原因や対処のしかた
映像が出ない AV 映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> アンテナは正しくつながっていますか？ →アンテナの接続を確認してください。 明るさは正しく調整されていますか？ →明るさの調整をし直してください。 外部機器と正しく接続されていますか？ →外部機器の接続と電源を確認してください。
映像も音声も出ない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ →電源コードの接続を確認してください。 電源スイッチは入っていますか？ →電源スイッチを入れてください。 テレビモード以外の入力モードになっていませんか？ →テレビモードに設定してください。
映像も音声もノイズしか出ない	<ul style="list-style-type: none"> アンテナケーブルが正しく接続されていますか？
映像や音声が出なくなる、または時々出なくなる 映像が静止する、または時々静止する	<ul style="list-style-type: none"> アンテナの向きが、風や振動によって変わっていませんか？ →アンテナを調整してください。 アンテナ線の劣化が考えられます。 着雪（アンテナ）、雨、雷雨などによる電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。雷雨や豪雨の中では、受信電波が弱くなり、また雪がアンテナに積ると受信状態が悪くなるため、一時的に映像や音声が止まったり、ひどいときにはまったく受信できなくなったりすることがあります。天候の回復を待ってください。
映りが悪い	<ul style="list-style-type: none"> アンテナケーブルが正しく接続されていますか？ 電波状態が悪いことが考えられます。
色合いが悪い、色が薄い	<ul style="list-style-type: none"> 色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？
画面が暗い	<ul style="list-style-type: none"> 明るさは正しく調整されていますか？ →明るさの調整をし直してください。
接続した機器の映像がでない	<ul style="list-style-type: none"> 外部機器は正しくつながっていますか？ →外部機器の接続と電源を確認してください。 入力切替は合っていますか？ →リモコンまたは本体の入力切替ボタンで、入力を切り換えてください。

はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続

調整と設定

その他

音声

症状	原因や対処のしかた
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> • 音量が最小になっていませんか？ • 「消音」状態になっていませんか？ • イヤホンが接続されていませんか？

デジタル放送

症状	原因や対処のしかた
地上デジタル放送が受信できない	<ul style="list-style-type: none"> • B-CAS カードは正しく挿入されていますか？ • 地上デジタル放送用アンテナは正しく接続されていますか？
引越ししたら、地上デジタル放送が受信できなくなった	<ul style="list-style-type: none"> • 「各種設定」の「かんたん設定」をやり直してください。 • 「かんたん設定」を行っても地上デジタル放送が正しく受信できなかったときは、お買い上げの販売店などにご相談のうえ、「各種設定」の「機器設定」から「アンテナ設定」を行ってください。
番組表が表示されない 表示されるチャンネルが少ない	<ul style="list-style-type: none"> • お買い上げ時、または長時間電源を切った状態のあとは、番組表の表示に時間がかかる場合があります。しばらく視聴すると表示されます。

エラーメッセージ一覧

代表的なエラーメッセージ表示について説明します。

デジタル放送

メッセージ	対処のしかた
B-CAS カードを正しく装着してください。	B-CAS カードが挿入されていないときに表示されます。
この B-CAS カードはご使用できません。 正しい B-CAS カードを装着してください。	B-CAS カードが挿入されていない、または使用できないカードが挿入されています。付属の B-CAS カードを正しく入れてください。
この B-CAS カードはご使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	B-CAS カードが挿入されていない、または使用できないカードが挿入されています。
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	契約されていないチャンネルを選局しています。
このチャンネルはご覧いただけません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	放送されていないチャンネルを選局しています。
契約期限が切れています。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	契約期限の切れたチャンネルを選局しています。
この B-CAS カードではご覧になることができません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	無効な IC カードが挿入されています。B-CAS カードを挿入してください。
受け付け時間を過ぎていますので購入できません。	双方向サービスによるショッピングについて、受付時間が終了しています。
このカードには必要な情報がありません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	無効な IC カードが挿入されています。B-CAS カードを挿入してください。
スキャン情報がありません。 各種設定の機器設定より、初期スキャンを実施して下さい。	各種設定より初期スキャンを実行してください。
信号を受信できません。(E202)	アンテナの接続が正しく行われているか確認してください。
現在このチャンネルは放送していません。	放送されていないチャンネルを選局しています。
受信感度が低下しました。 低階層用の音声映像に切替えます。	雨などの影響により、一時的に受信レベルが低下しています。しばらくお待ちください。アンテナの接続が正しく行われているかも確認してください。

はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続

調整と設定

その他

エラーメッセージ一覧

メッセージ	対処のしかた
スキャン情報の更新が必要になりました。 各種設定より初期スキャンを実施して下さい。	各種設定より初期スキャンを実行してください。
指定された3桁番号では選局できませんでした。 番号を確認してください。(E204)	チャンネルが割り当てられていない数字を指定したときに表示されます。
重複している3桁番号が存在します。 枝番号を入力してください。	数字キーで枝番号を追加してください。
このボタンにチャンネルは割り当てられていません。	チャンネルが割り当てられていない数字キーを押したときに表示されます。
選局先のサービス情報が無い為、選局できません。	放送チャンネルを選択し直してください。
この番組をご覧いただくには契約・登録が必要です。 詳細はご案内チャンネルの中でご紹介しています。 ご案内チャンネルに切り換えますか？	契約されていないチャンネルを選局しています。
予約番組が始まろうとしています。予約を実行しますか？ “はい”現在の操作を中断して、予約した操作を始めます。 “いいえ”予約をキャンセルした後、現在の操作を続けます。	すでに予約してある番組が始まる時に、他の操作をしようとした場合表示されます。
この番組は視聴条件により、ご覧いただけません。	放送チャンネルを選択し直してください。
信号がありません。	アンテナの接続が正しく行われているか確認してください。
形式はサポートされていません。	指定の番組を再生することができないときに表示されます。
ハードディスクが検出されません。	USBハードディスクが正しく接続されているか確認してください。
ハードディスクの空き領域が足りません。	USBハードディスクの空き領域が少ないため録画ができない状態です。
番組情報（番組開始時間、番組放送時間）が取得出来ないため、録画出来ません。	アンテナの接続が正しく行われているか確認してください。
ファイルへの書き込みが出来ません。	USBハードディスクが正しく接続されているか確認してください。
この番組は録画できません。	録画できない番組です。
録画済み番組数が上限になりました。 不要な番組 / 予約を削除してください。	録画済み番組数が300件を超えたときに表示されます。

はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続

調整と設定

その他

エラーメッセージ一覧

録画予約

録画関連のエラーのメッセージはメール表示で確認できます。

エラー	メッセージ
録画予約中止	システムエラーにより、録画予約の登録に失敗しました。
	システムエラーにより、予約番組の視聴が開始出来ませんでした。
	録画予約チャンネルの選局に失敗しました。 予約したチャンネルの受信状態が悪い可能性があります。 受信状態を確認して下さい。
	システムエラーにより、電源が入りませんでした。
	録画予約チャンネルの選局を拒否しました。 録画予約開始時に機器設定（スキャン、アンテナ設定）を行っていた可能性があります。
	ユーザー操作により、予約が取り消されました。
	録画できる最大タイトル数を超えるため、録画をできません。
録画予約中止 (ハードディスク異常)	録画指定のハードディスク登録に失敗しました。 ハードディスクが使用可能なプラグで確認してください。
録画予約中止 (ハードディスク容量)	ハードディスク容量がいっぱいです。
録画予約解除 (番組情報取得不可)	予約番組情報（番組開始時間、番組放送時間）が取得出来ないため、録画予約を解除しました。
録画予約解除 (選局拒否)	録画開始時に「選局しない」を選択したため、録画予約を解除しました。
録画予約解除（選局）	予約番組視聴中にチャンネル操作を行ったため、録画予約を解除しました。
録画予約解除（電源「切」）	予約番組視聴中に電源「切」操作を行ったため、録画予約を解除しました。
録画予約解除 (開始時刻変更失敗)	番組開始時刻が変更されましたが、追従出来ませんでした。 変更された時刻に別の録画予約が設定されている可能性があります。
録画予約解除 (予約番組終了)	主電源が切れている間に録画予約番組の放送が終了したため、録画予約を解除しました。

はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続

調整と設定

その他

壁掛けでご使用になるとき

本機は市販の壁掛け金具を使用して、壁に取り付けることができます。

- テレビを取り付ける壁の強度には十分ご注意ください。
- 壁掛け金具の取り付けは、必ず専門の業者にご依頼ください。
- 専門業者以外の方が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だったりすると、テレビが落下して、打撲や大けがの原因となることがあります。

掛け金具取り付け用ネジ穴



お知らせ

ネジ穴寸法は 200mm × 100mm です。
VESA 規格に準じた金具をご購入ください。

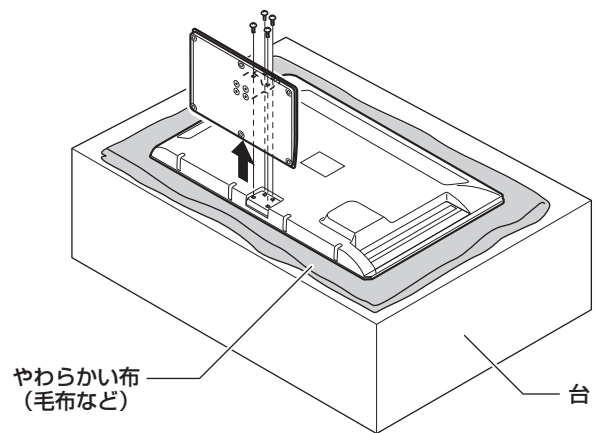
ご注意

- 壁掛け金具の本体固定用には M6 のネジを使用してください。
製品内部に 8mm 以上入り込む長さのネジは使用しないでください。
- 長いネジをご使用になると内部の部品へダメージを与え製品を損傷いたします。

スタンドのはずしかた

本機を壁掛けでご使用になるときは、スタンドをはずしてください。

- 1 テーブルなどの台の上に毛布などのやわらかい布を敷き、その上に液晶画面を下向きにして本機を置く
- 2 スタンド部分のネジ（4箇所）を取りはずし、スタンドを手前に引いてはずす



ご注意

- 液晶パネルを傷つけないよう取り扱いにご注意ください。
- はずしたネジは、再度スタンドを取り付ける場合に必要です。スタンドと共に保管してください。

主な仕様

◆ テレビ

型名	LCH3209G	
種類	32V 液晶デジタルハイビジョンテレビ	
液晶パネル	画面サイズ (横×縦)	697.7mm × 329.3mm
	駆動方法	TFT アクティブマトリクス
	画素数 (水平×垂直)	1366 × 768
	応答速度	7ms (Typ. On/Off)
	視野角 (標準値)	左右 176° / 上下 176°
	輝度	250cd / m ² (最大値)
	コントラスト比 (標準値)	500:1 (標準値)
電源	AC100V 50 / 60Hz 共有	
定格消費電力	60W	
待機時消費電力	0.8W	
年間消費電力量	52.5KWh / 年	
音声出力	10W + 10W	
受信チャンネル	地上デジタル :UHF(13 ~ 62ch) ・ CATV パススルー (VHF,UHF) 対応	
入力・出力端子	ビデオ入力 × 1	映像 : 1V(p-p)、75 Ω、負同期 音声 : 500mV(rms)、22k Ω以上 (インピーダンス)
	ヘッドホン端子出力	口径 3.5mm ステレオミニジャック 適合インピーダンス 8 Ω ~ 32 Ω
	HDMI 入力	HDMI Ver. 1.2 標準規格 HDMI 対応入力解像度 : 480i, 480p, 720p, 1080i, 1080p
その他の機能	電子番組表 (EPG) 対応 : 7 チャンネル 6 時間分表示、字幕 & 文字スーパー対応、データ放送 (BML)	
使用条件	使用周囲温度 : 0℃ ~ 35℃、使用周囲湿度 : 20% ~ 80% (結露のないこと)	
外形寸法	幅	743.4mm
	高さ	498.5mm
	奥行き (スタンド含む)	200.0mm
質量 (スタンド含む)	6.3Kg	
付属品	スタンダー式、ネジ 8 本、リモコン 1 個、単 4 形乾電池 2 個、miniB-CAS カード 1 枚、取扱説明書 1 部、保証書 1 部	

はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続

調整と設定

その他

◆ リモコン (RC-011)

電源	DC 3V (単 4 形乾電池× 2)
質量	92.5 g (乾電池を含まない)
リモコン操作距離	約 7 m (ただし直進)

* 製品仕様は予告なく変更されることがあります。

年間消費電力とは：省エネルギー法に基づいて型サイズや受信機の種類の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、1 年間に使用する電力量です。

このテレビをご使用できるのは、日本国内のみで外国では使用できません。

◆ 対応機器一覧

本機に接続できる外付け USB ハードディスクは以下のとおりです。

各ホームページの情報もご確認ください。

アイ・オー・データ製

HDCL-UTE2K 2W (据え置きタイプ)

<http://www.iodata.jp/product/hdd/hdd/hdcl-ute/index.htm>

AVHD-AUT1.0B 2.0B (据え置きタイプ)

<http://www.iodata.jp/product/hdd/hdd/>

HDPC-UT500KE (ポータブルタイプ)

<http://www.iodata.jp/product/hdd/portable/>

AVHD-UT1.0 2.0 (据え置きタイプ)

<http://www.iodata.jp/product/hdd/hdd/>

バッファロー社製

HD-LCU3-E シリーズ (据え置きタイプ)

http://buffalo.jp/products/catalog/storage/hd_ex_list.html

HD-LLU3-E シリーズ (据え置きタイプ)

http://buffalo.jp/products/catalog/storage/hd_ex_list.html

保証書とアフターサービス

本製品のアフターサービスに関してご不明な場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。

◆ 保証書・保証期間について

- この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
- 弊社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低8年間保有しています。

◆ 修理を依頼されるとき

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

【保証期間中の場合】

保証書の規定に従い、弊社にて修理をさせていただきます。ユニテクサービスセンターにご連絡ください。

【保証期間を過ぎている場合】

お買い上げの販売店にご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

故障／修理のお問い合わせはユニテクサービスセンターまでお願いいたします。

◆ 修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号 / FAX 番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- モデル名・製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている番号です。）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

◆ 個人情報の取扱いについて

- 保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

はじめに

準備

基本の操作

外部機器との接続

調整と設定

その他

ソフトウェアのライセンス情報

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに第三者の著作権が存在します。

本製品は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知（以下、「EULA」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しての問い合わせは、ユニテクサポートセンターへお願いいたします。

また、本製品のソフトウェアコンポーネントには、開発もしくは作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント類には、所有権が存在し、著作権法、国際条約条項及び他の準拠法によって保護されています。「EULA」の適用を受けない開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた本製品は、製品として、弊社所定の保証をいたします。ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、「as is」（現状）の状態、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけず、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、一切の責任を負いません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます（データの消失、又はその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません）。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

本製品に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は第三者による規定であるため、原文（英文）を記載します。

本製品で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント 原文（英文）

対応ソフトウェアモジュール	
Linux Kernel Busybox	Exhibit A
Glibc Gcc	Exhibit B
Malloc	Exhibit C
Yamon	Yamon
	Access

Exhibit A

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright © 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program. You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
- If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

- Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

- Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

- You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

- You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

- Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

- If as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all.

For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

- If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

- The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

- If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

- BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

- IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED

ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文 (英文)

BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<One line to give the program's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © 19yy <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail. If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright © 19yy name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouseclicks or menu items - whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for you program; if necessary, Here is a sample; alter the names:

Yooyodine, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program 'Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.
<signature of Ty Coon>, 1 April 1989 Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

Exhibit B

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999
Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software - to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages - typically libraries - of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries.

In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in nonfree programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- The modified work must itself be a software library.
- You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange. If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

- b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

- c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

- d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

- e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

- a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

- b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License.

If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all.

For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library "Frob" (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990

Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

Exhibit C

This is a version (aka dlmalloc) of malloc / free / realloc written by Doug Lea and released to the public domain. Use, modify, and redistribute this code without permission or acknowledgement in any way you wish. Send questions, comments, complaints, performance data, etc to dl@cs.oswego.edu

VERSION 2.7.2 Sat Aug 17 09:07:30 2002 Doug Lea (dl at gee)
Note: There may be an updated version of this malloc obtainable at <ftp://gee.cs.oswego.edu/pub/misc/malloc.c>
Check before installing!

YAMON;**SOFTWARE LICENSE AGREEMENT ("Agreement")**

IMPORTANT- This Agreement legally binds you (either an individual or an entity), the end user ("Licensee"), and MIPS Technologies, Inc. ("MIPS") whose street address and fax information is 1225 Charleston Road, Mountain View, California 94043, Fax Number (650) 567-5154.

1. DEFINITIONS-

The following definitions apply to this Agreement: "Authorized Product" shall mean a product developed by MIPS or under a license that was granted by MIPS.

"Documentation" shall mean documents (including any updates provided or made available by MIPS solely at its discretion), and any information, whether in written, magnetic media, electronic or other format, provided to Licensee describing the Software, its operation and matters relating to its use.

"GPL Materials" shall mean any source or object code provided by MIPS to Licensee under the terms of the GNU General Public License, Version 2, June 1991 or later ("GNU GPL").

"IP Rights" shall mean intellectual property rights including, but not limited to, patent, copyright, trade secret and mask work rights.

"Licensee Code Modifications" shall mean any modifications to YAMON Code and/or other code provided to Licensee by MIPS, made by or on behalf of Licensee.

"MIPS Code Modifications" shall mean modifications to YAMON Code and/or other code provided to Licensee by MIPS or any third party licensed by MIPS, wherein such third party grants back to MIPS a license under such code modifications with the rights to sublicense and grant further sublicenses.

"MIPS Deliverables" shall mean the Software, Documentation and any other information or materials provided by MIPS to Licensee pursuant to this Agreement except for GPL Materials.

"Software" shall mean software containing YAMON Code, any other source and/or object code provided by MIPS at its sole discretion, and any Documentation contained in such software at MIPS' sole discretion.

"YAMON Code" shall mean source and/or object code for the YAMON monitor software, Ver. 1.01, or later (including any updates provided or made available by MIPS solely at its discretion).

2. MIPS LICENSE GRANTS

(a) Subject to Licensee's compliance with the terms and conditions of this Agreement and payment of any fees owed to MIPS, MIPS grants to Licensee a non-exclusive, worldwide, non-transferable, royalty-free, fully-paid limited right and license to:

- (i) use the MIPS Deliverables at Licensee's facilities solely for Licensee's internal evaluation and development purposes (and to use, copy and reproduce and have reproduced Documentation solely to facilitate those uses of MIPS Deliverables that are allowed hereunder), and to sublicense Licensee's rights granted in this Subsection 2(a)(i) to Licensee's consultants for their use of the MIPS Deliverables at their facilities for their internal evaluation and development purposes;

- (ii) make, use, import, copy, reproduce, have reproduced, modify, create derivative works from YAMON Code only in conjunction with making, using, importing, offering for sale and selling or otherwise distributing Authorized Product and only for use exclusively with such Authorized Product, and to sublicense its rights granted in this Subsection 2(a)(ii), including the right to grant further sublicenses, provided that with respect to any sublicensee, (A) any IP Rights arising in any modification or derivative work created by such sublicensee shall be licensed back to MIPS together with the right by MIPS to sublicense such rights and grant further sublicenses, and (B) the obligations of Subsection 2(c) below shall apply equally to any YAMON Code modified and/or sublicensed by such sublicensee. These obligations shall be deemed to have been satisfied by Licensee's delivery of a copy of this Agreement to its sublicensee(s).

(b) MIPS further grants to Licensee a non-exclusive, worldwide, non-transferable, royalty-free, fully-paid limited right and license under MIPS' IP Rights in any MIPS Code Modifications in existence now or at any time during the term of this Agreement (including those IP Rights assigned to MIPS or licensed to MIPS with sufficient sublicensing rights to satisfy the license grant in this Subsection 2(b)) to the limited extent that Licensee may make, use and import such MIPS

Code Modifications only in conjunction with making, using, importing, offering for sale and selling or otherwise distributing Authorized Product and only for use exclusively with such Authorized Product, and sublicense its rights granted in this Subsection 2(b), including the right to grant further sublicenses under the preconditions set forth in Subsection 2(a)(ii) above. Licensee acknowledges and agrees that MIPS (or any third party) is under no obligation to deliver MIPS Code Modifications; rather, this license right is intended solely to provide a freedom to use such modifications when created independently by Licensee or any sublicensee thereof.

- (c) Any YAMON Code modified and/or sublicensed pursuant to this Agreement must (i) contain all copyright and other notices contained in the original YAMON Code provided by MIPS to Licensee, (ii) cause modified files to carry prominent notices stating that Licensee (or any sublicensee) changed the files and the date of any change, and (iii) be sublicensed under terms that disclaim all warranties from MIPS and limit all liability of MIPS pursuant to Sections 8, 9, 11 and 12 herein.
- (d) All other rights to the MIPS Deliverables not stated in this Section 2 are reserved to MIPS. Except as set out in this Section 2, Licensee shall not rent, lease, sell, sublicense, assign, loan, or otherwise transfer or convey the MIPS Deliverables to any third party. These license grants are effective as of the Effective Date. No license is granted for any other purpose.
- (e) To the extent MIPS provides any GPL Materials to Licensee, use of such materials shall, notwithstanding any provision of this Agreement to the contrary, be governed by the GNU GPL.

3. LICENSEE CODE MODIFICATIONS

In partial consideration for the rights and licenses granted under Section 2 herein, Licensee agrees to grant and does hereby grant to MIPS a perpetual, irrevocable, non-exclusive worldwide, royalty-free, fully-paid limited right and license under Licensee's IP Rights in any Licensee Code Modifications (including those IP Rights assigned to Licensee or licensed to Licensee with sufficient sublicensing right to satisfy the license grant in this Section 3) to the extent that MIPS may make, use and import such Licensee Code Modifications only in conjunction with making, using, importing, offering for sale and selling or otherwise distributing Authorized Product and only for use exclusively with such Authorized Product, and sublicense its rights granted in this Section 3, including the right to grant further sublicenses. MIPS acknowledges and agrees that Licensee (or any third party) is under no obligation to deliver Licensee Code Modifications; rather, this license right is intended solely to provide a freedom to use such modifications when created independently by MIPS or any sublicensee thereof.

4. OWNERSHIP AND PREVENTION OF MISUSE OF MIPS DELIVERABLES

- (a) This Agreement does not confer any rights of ownership in or to the MIPS Deliverables to Licensee; Licensee does not acquire any rights, express or implied, in the MIPS Deliverables other than those specified in Section 2 above. Licensee agrees that all title and IP Rights in the MIPS Deliverables remain in MIPS (subject only, if and to the extent applicable, to the rights of a MIPS supplier with respect to a particular MIPS Deliverable(s)). Licensee agrees that it shall take all reasonable steps to prevent unauthorized copying of the MIPS Deliverables.
- (b) MIPS owns all right, title and interest in the YAMON Code and other MIPS Deliverables (subject only, if and to the extent applicable, to the rights of a MIPS supplier with respect to a particular MIPS Deliverable(s)). Licensee shall own all right, title and interest in the modifications and derivative works of the YAMON Code created by Licensee, subject to MIPS' rights in the underlying original YAMON Code as provided under this Agreement.
- (c) Licensee agrees to provide reasonable feedback to MIPS including, but not limited to, usability of the MIPS Deliverables. All feedback made by Licensee shall be the property of MIPS and may be used by MIPS for any purpose.
- (d) Licensee shall make all reasonable efforts to discontinue distribution, copying and use of any MIPS Deliverables that are replaced by a new, upgraded or updated version of any such MIPS Deliverables, including distribution to any sublicensee of such new, upgraded or updated versions.
- (e) Licensee shall not make any statement of any kind or in any format, that any MIPS Deliverable is certified, or that its performance in connection with any product is warranted, indemnified or guaranteed in any way by MIPS or any party on MIPS' behalf. (f) Neither YAMON, MIPS nor any other trademark owned or licensed in by MIPS may be used by Licensee, any sublicensee thereof or any party on their behalf without prior written consent by MIPS, including at MIPS' sole discretion a trademark license agreement preapproved by MIPS.

5. ASSIGNMENT

Licensee may not assign or otherwise transfer any of its rights or obligations under this Agreement to any third party without MIPS' prior written consent, and any attempt to do so will be null and void. This prohibition against Licensee's assignment shall apply even in the event of merger, re-organization, or when a third party purchases all or substantially

all of Licensee's assets. Subject to the foregoing, this Agreement will be binding upon and will inure to the benefit of the parties and their respective permitted successors and assigns.

6. LIMITATIONS OF MIPS' SUPPORT-RELATED OBLIGATIONS

This Agreement does not entitle Licensee to hard-copy documentation or to support, training or maintenance of any kind from MIPS, including documentary, technical, or telephone assistance.

7. TERM AND TERMINATION

- (a) This Agreement shall commence on the Effective Date. If Licensee fails to perform or violates any obligation under this Agreement, then upon thirty (30) days written notice to Licensee specifying such default (the "Default Notice"), MIPS may terminate this Agreement without liability, unless the breach specified in the Default Notice has been cured within the thirty (30) day period. This 30-day period may be extended upon mutual, written consent between the parties.
- (b) Upon the termination of this Agreement due to Licensee's material breach hereof, Licensee shall (1) immediately discontinue use of the MIPS Deliverables, (2) promptly return all MIPS Deliverables to MIPS, (3) destroy all copies of MIPS Deliverables made by Licensee, and (4) destroy all copies of derivative works of MIPS Deliverables made by Licensee while in breach of this Agreement. All licenses granted hereunder shall terminate as of the effective date of termination.
- (c) The rights and obligations under this Agreement which by their nature should survive termination, including but not limited to Sections 3 - 16, will remain in effect after expiration or termination hereof. Subject to Licensee's compliance with the surviving sections of this Agreement identified herein, any sublicenses rightfully granted and derivative works rightfully developed pursuant to Section 2 shall survive the termination of this Agreement.

8. DISCLAIMER OF WARRANTIES

THE MIPS DELIVERABLES ARE PROVIDED "AS IS". MIPS MAKES NO WARRANTIES WITH REGARD TO ANY OF THE MIPS DELIVERABLES, AND EXPRESSLY DISCLAIMS ALL WARRANTIES, WHETHER EXPRESS, IMPLIED, STATUTORY OR OTHERWISE, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF TITLE, MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS.

9. LIMITATION OF LIABILITY AND REMEDY

- (a) Licensee acknowledges the MIPS Deliverables are provided to Licensee only for the purpose set forth in Section 2. Licensee shall hold harmless and indemnify MIPS from any and all actual or threatened liabilities, claims or defenses based on the sublicensing, use, copying, installation, demonstration and/or modification of any of the MIPS Deliverables by Licensee, any sublicensee of Licensee or any party on their behalf. Licensee shall have sole responsibility for adequate protection and backup of any data and/or equipment used with the MIPS Deliverables, and Licensee shall hold harmless and indemnify MIPS from any and all actual or threatened liabilities, claims and defenses for lost data, re-run time, inaccurate output, work delays or lost profits resulting from use and/or modification of the MIPS Deliverables, or any portion thereof, under this Agreement. Licensee expressly acknowledges and agrees that any research or development performed with respect to the MIPS Deliverables is done entirely at Licensee's own risk.
- (b) NEITHER PARTY SHALL BE LIABLE TO THE OTHER PARTY OR TO ANY THIRD PARTY FOR ANY DAMAGES INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, PUNITIVE, INDIRECT, EXEMPLARY OR INCIDENTAL DAMAGES, WHETHER SUCH DAMAGES ARISE UNDER A TORT, CONTRACT OR OTHER CLAIM, OR DAMAGES TO SYSTEMS, DATA OR SOFTWARE, EVEN IF SUCH PARTY HAS BEEN INFORMED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. THIS LIMITATION ON LIABILITY SHALL SURVIVE EVEN IF THE LIMITED REMEDY PROVIDED HEREIN FAILS OF ITS ESSENTIAL PURPOSE. IN NO CASE WILL MIPS' LIABILITY FOR DAMAGES UNDER THIS AGREEMENT EXCEED THE AMOUNTS RECEIVED BY MIPS AS FEES UNDER THIS AGREEMENT.

10. WAIVER; MODIFICATION

Any waiver of any right or default hereunder will be effective only in the instance given and will not operate as or imply a waiver of any other or similar right or default on any subsequent occasion. No waiver or modification of this Agreement or of any provision hereof will be effective unless in writing and signed by the party against whom such waiver or modification is sought to be enforced.

11. HAZARDOUS APPLICATIONS

The MIPS Deliverables are not intended for use in any nuclear, aviation, mass transit, medical, or other inherently dangerous application. MIPS EXPRESSLY DISCLAIMS ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY OF FITNESS FOR SUCH USE. LICENSEE REPRESENTS AND WARRANTS THAT IT WILL NOT USE THE MIPS DELIVERABLES FOR SUCH PURPOSES.

12. SEVERABILITY

In the event any provision of this Agreement (or portion thereof) is determined to be invalid, illegal or otherwise unenforceable, then such provision will, to the extent permitted, not be voided but will instead be construed to give effect to its intent to the maximum extent permissible under applicable law and the remainder of this Agreement will remain in full force and effect according to its terms. IN THE EVENT THAT ANY REMEDY HEREUNDER IS DETERMINED TO HAVE FAILED OF ITS ESSENTIAL PURPOSE, ALL LIMITATIONS OF LIABILITY AND EXCLUSIONS OF DAMAGES SHALL REMAIN IN EFFECT.

13. RIGHTS IN DATA

Licensee acknowledges that all software and software related items licensed by MIPS to Licensee pursuant to this Agreement are "Commercial Computer Software" or "Commercial Computer Software Documentation" as defined in FAR 12.212 for civilian agencies and DFARS 227.7202 for military agencies, and that in the event that Licensee is permitted under this Agreement to provide such items to the U.S. government, such items shall be provided under terms at least as restrictive as the terms of this Agreement.

14. MISCELLANEOUS

- (a) The MIPS Deliverables and GPL Materials may be subject to U.S. export or import control laws and export or import regulations of other countries. Licensee agrees to comply strictly with all such laws and regulations and acknowledges that it has the responsibility to obtain such licenses to export, re-export, or import as may be required after delivery to Licensee. Licensee shall indemnify, defend and hold MIPS harmless from any damages, fees, costs, fines, expenses, charges and any actual or threatened civil and/or criminal claims or defenses arising from any failure of Licensee and/or its customers to comply with any obligations arising under this Section 14(a).
- (b) Any notice required or permitted by this Agreement must be in writing and must be sent by email, by facsimile, by recognized commercial overnight courier, or mailed by United States registered mail, effective only upon receipt, to the legal departments of MIPS or Licensee (if Licensee has no legal department, then to an officer of Licensee, a contact person specified by Licensee or Licensee's place of business).
- (c) The headings contained herein are for the convenience of reference only and are not intended to define, limit, expand or describe the scope or intent of any clause or provision of this Agreement.
- (d) The parties hereto are independent contractors, and nothing herein shall be construed to create an agency, joint venture, partnership or other form of business association between the parties hereto.
- (e) Licensee acknowledges that, in providing Licensee with the MIPS Deliverables, MIPS has relied upon Licensee's agreement to be bound by the terms of this Agreement. Licensee further acknowledges that it has read, understood, and agreed to be bound by the terms of this Agreement, and hereby reaffirms its acceptance of those terms.

15. GOVERNING LAW AND JURISDICTION

This Agreement shall be governed by the laws of the State of California, excluding California's choice of law rules. With the exception of MIPS' rights to enforce its intellectual property rights in the MIPS Deliverables, all disputes arising out of this Agreement shall be subject to the exclusive jurisdiction and venue of the state and federal courts located in Santa Clara County, California, and the parties consent to the personal and exclusive jurisdiction and venue of these courts. The parties expressly disclaim the application of the United Nations Convention on the International Sale of Goods to this Agreement.

16. ENTIRE AGREEMENT

This Agreement and the GNU GPL constitute the entire agreement between MIPS and Licensee regarding the MIPS Deliverables and GPL Materials provided to Licensee hereunder, and shall supersede and control over any other prior or contemporaneous shrinkwrap and/or clickwrap agreements regarding the same. Any additions or modifications must be made in a subsequent, written agreement signed by both parties.

オープンソース・ソフトウェア

[オープンソース・ソフトウェアの使用条件が記載された URL]

(a)ijgjpeg	http://www.ijg.org/
(b)zlib	http://www.zlib.net/zlib_license.html
(c)libpng	http://www.libpng.org/pub/png/src/libpng-LICENSE.txt

[本契約締結時点でのオープンソース・ソフトウェアの使用条件]
<Image Decoder Modules>

- (a) ijgjpeg
- (b) zlib
- (c) libpng

(a) ijgjpeg

ijgjpeg License Terms

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane.
All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

- (1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
- (2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".
- (3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ansi2knr.c is included in this distribution by permission of L. Peter Deutsch, sole proprietor of its copyright holder, Aladdin Enterprises of Menlo Park, CA. ansi2knr.c is NOT covered by the above copyright and conditions, but instead by the usual distribution terms of the Free Software Foundation; principally, that you must include source code if you redistribute it. (See the file ansi2knr.c for full details.) However, since ansi2knr.c is not needed as part of any program generated from the IJG code, this does not limit you more than the foregoing paragraphs do.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltconfig, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by M.I.T. but is also freely distributable.

It appears that the arithmetic coding option of the JPEG spec is covered by patents owned by IBM, AT&T, and Mitsubishi. Hence arithmetic coding cannot legally be used without obtaining one or more licenses. For this reason, support for arithmetic coding has been removed from the free JPEG software. (Since arithmetic coding provides only a marginal gain over the unpatented Huffman mode, it is unlikely that very many implementations will support it.) So far as we are aware, there are no patent restrictions on the remaining code.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files.

To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce "uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that "The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property of CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of CompuServe Incorporated."

(b) zlib

zlib License Terms

/* zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library version 1.2.3, July 18th, 2005

Copyright (C) 1995-2005 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly jloup@gzip.org
Mark Adler madler@alumni.caltech.edu

*/

(c)libpng

COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.2.18, May 15, 2007, are Copyright (c) 2004, 2006-2007 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors

Cosmin Truta

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux
Eric S. Raymond
Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane
Glenn Randers-Pehrson
Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

その他 ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文

はじめに

John Bowler
Kevin Brace
Sam Bushell
Magnus Holmgren
Greg Roelofs
Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger
Dave Martindale
Guy Eric Schalnat
Paul Schmidt
Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.
2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about" boxes and the like:

```
printf("%s",png_get_copyright(NULL));
```

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg (88x31) and "pngnow.png" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

Glenn Randers-Pehrson
glennrp at users.sourceforge.net
May 15, 2007

準備

基本の操作

外部機器との接続

調整と設定

その他

ライセンスおよび商標などについて

-  本製品は、株式会社 ACCESS の NetFrontBrowser を搭載しています。ACCESS、NetFront は、日本国およびその他の国における株式会社 ACCESS の商標または登録商標です。©2009 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
-  HDMI、MDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標、または登録商標です。
- 本製品の一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。CHECKED: K.



株式会社 **ユニテック**

サービスセンター

電話 (03) 5387-1342

営業時間 9:00 ~ 12:00

13:00 ~ 17:00

土日、祝日および年末年始は、お休みとなります

